

保護者-23-2. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市平野区の保護者全体では、「いる」が78.4%、「いない」が9.5%、「わからない」が10.8%、「無回答」が1.2%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が79.3%、「いない」が9.3%、「わからない」が10.7%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が77.5%、「いない」が9.8%、「わからない」が11.0%、「無回答」が1.7%であった。

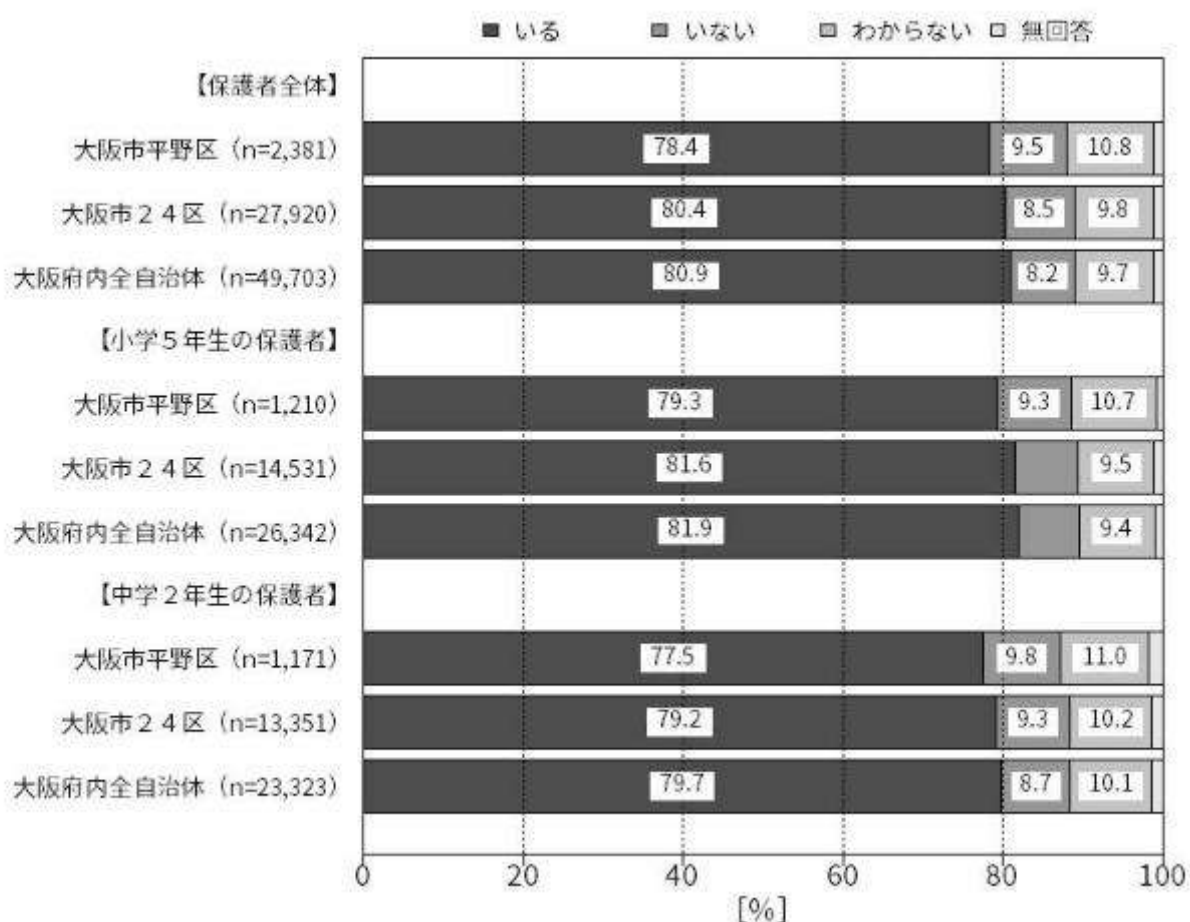


図 93. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

保護者-23-3. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市平野区の保護者全体では、「いる」が80.2%、「いない」が11.4%、「わからない」が7.1%、「無回答」が1.4%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が81.8%、「いない」が10.7%、「わからない」が6.8%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が78.5%、「いない」が12.1%、「わからない」が7.3%、「無回答」が2.0%であった。

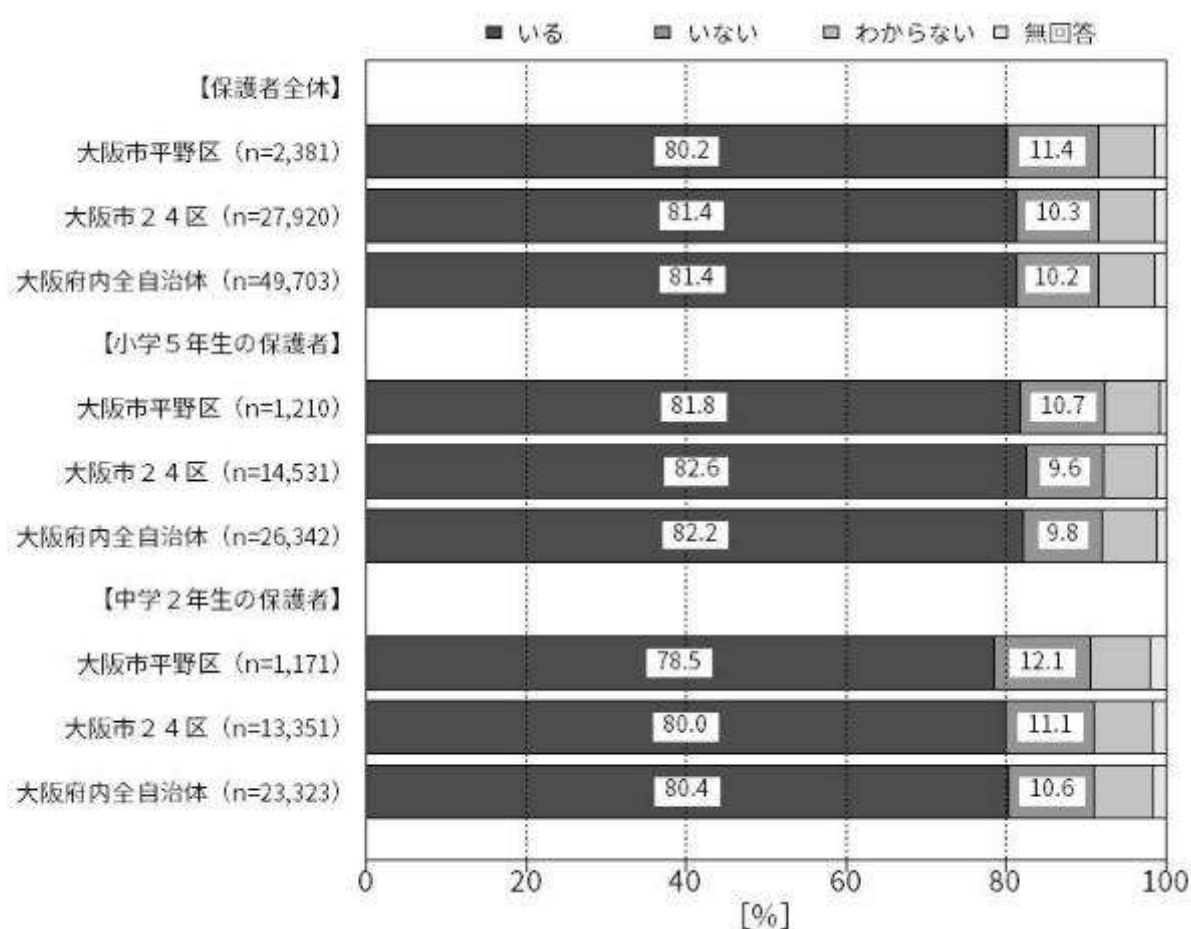


図 94. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者-23-4. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市平野区の保護者全体では、「いる」が78.5%、「いない」が9.7%、「わからない」が10.7%、「無回答」が1.2%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が80.2%、「いない」が8.3%、「わからない」が10.6%、「無回答」が0.8%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が76.6%、「いない」が11.0%、「わからない」が10.8%、「無回答」が1.5%であった。

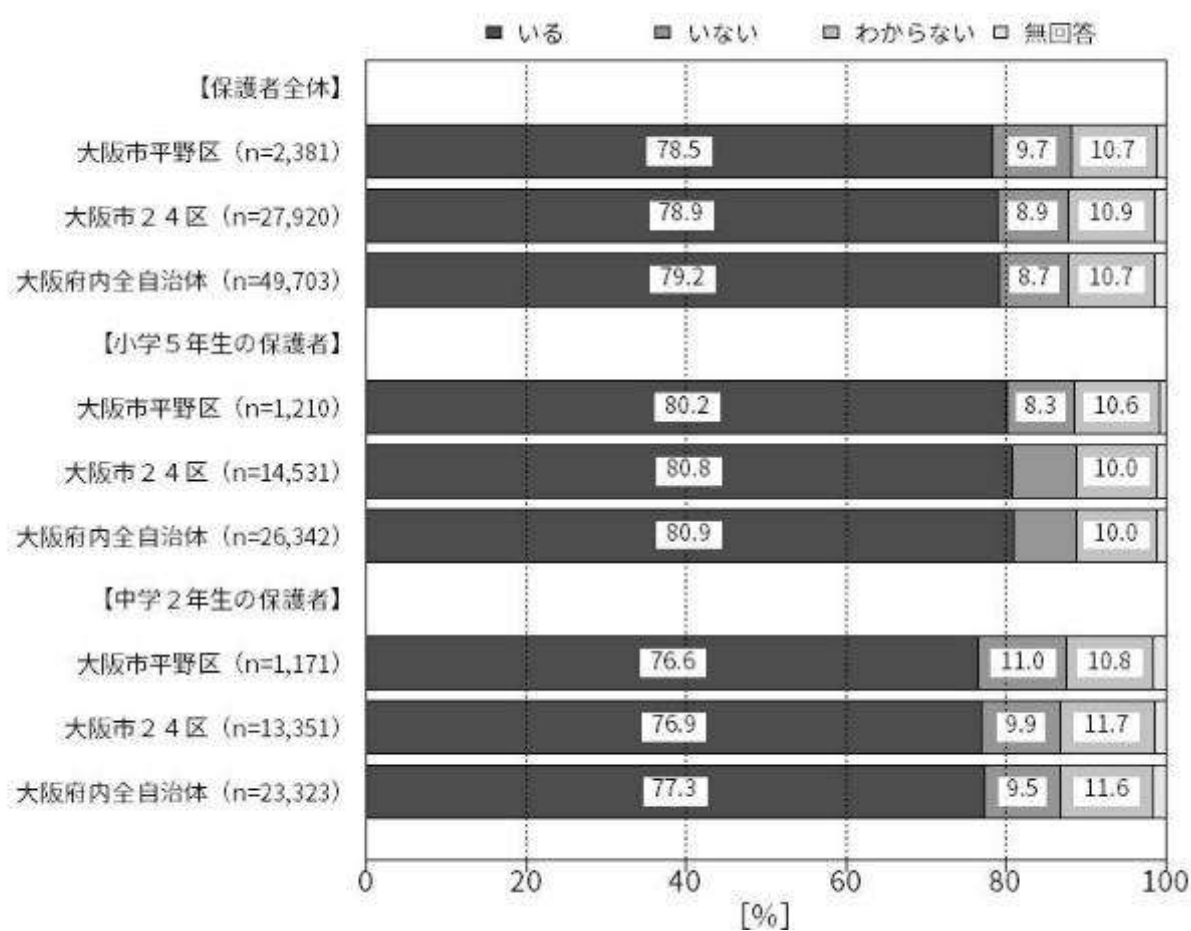


図 95. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者-23-5. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市平野区の保護者全体では、「いる」が66.0%、「いない」が16.3%、「わからない」が16.3%、「無回答」が1.3%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が69.4%、「いない」が14.1%、「わからない」が15.6%、「無回答」が0.8%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が62.5%、「いない」が18.6%、「わからない」が17.0%、「無回答」が1.9%であった。

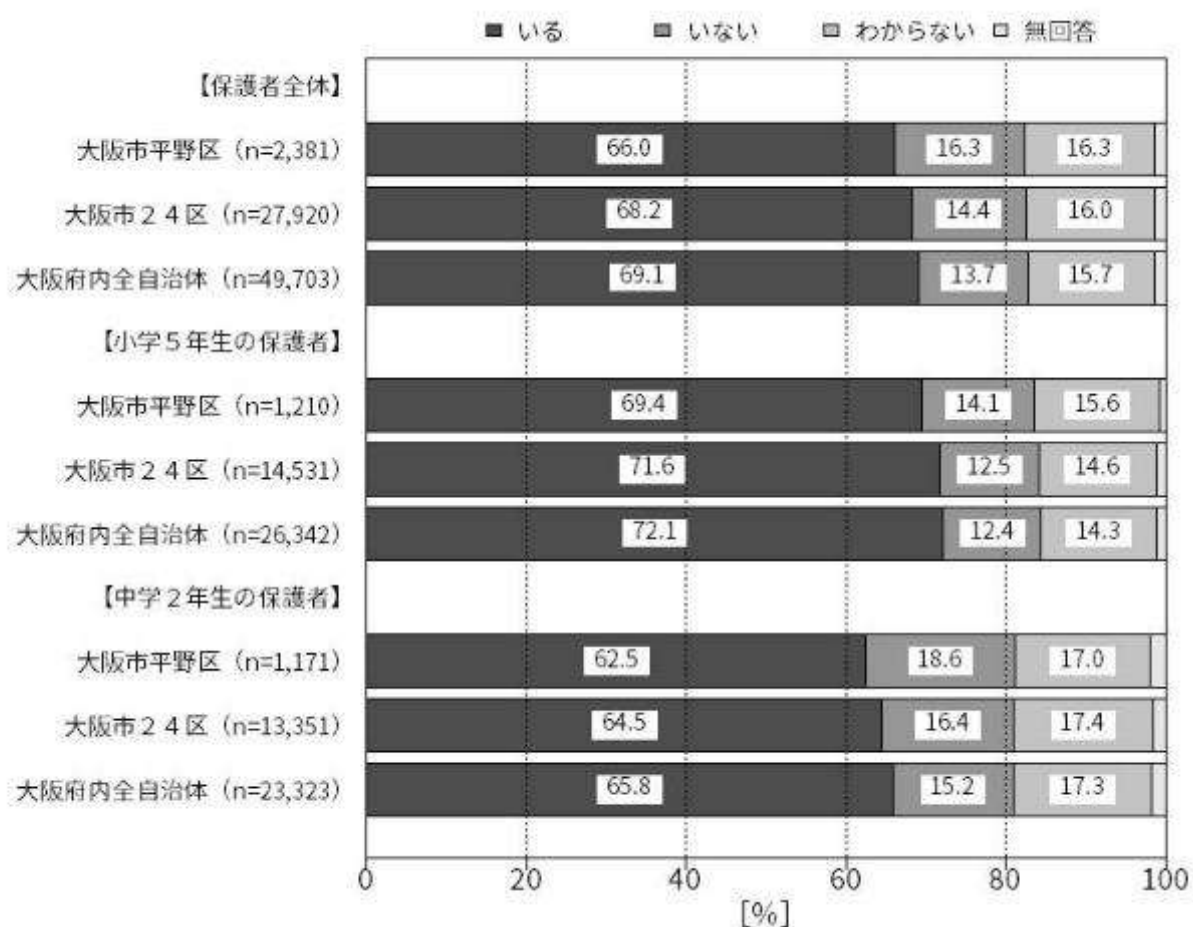


図 96. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者-23-6. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市平野区の保護者全体では、「いる」が69.2%、「いない」が24.1%、「わからない」が5.4%、「無回答」が1.3%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が69.4%、「いない」が24.5%、「わからない」が5.3%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が69.0%、「いない」が23.7%、「わからない」が5.5%、「無回答」が1.8%であった。

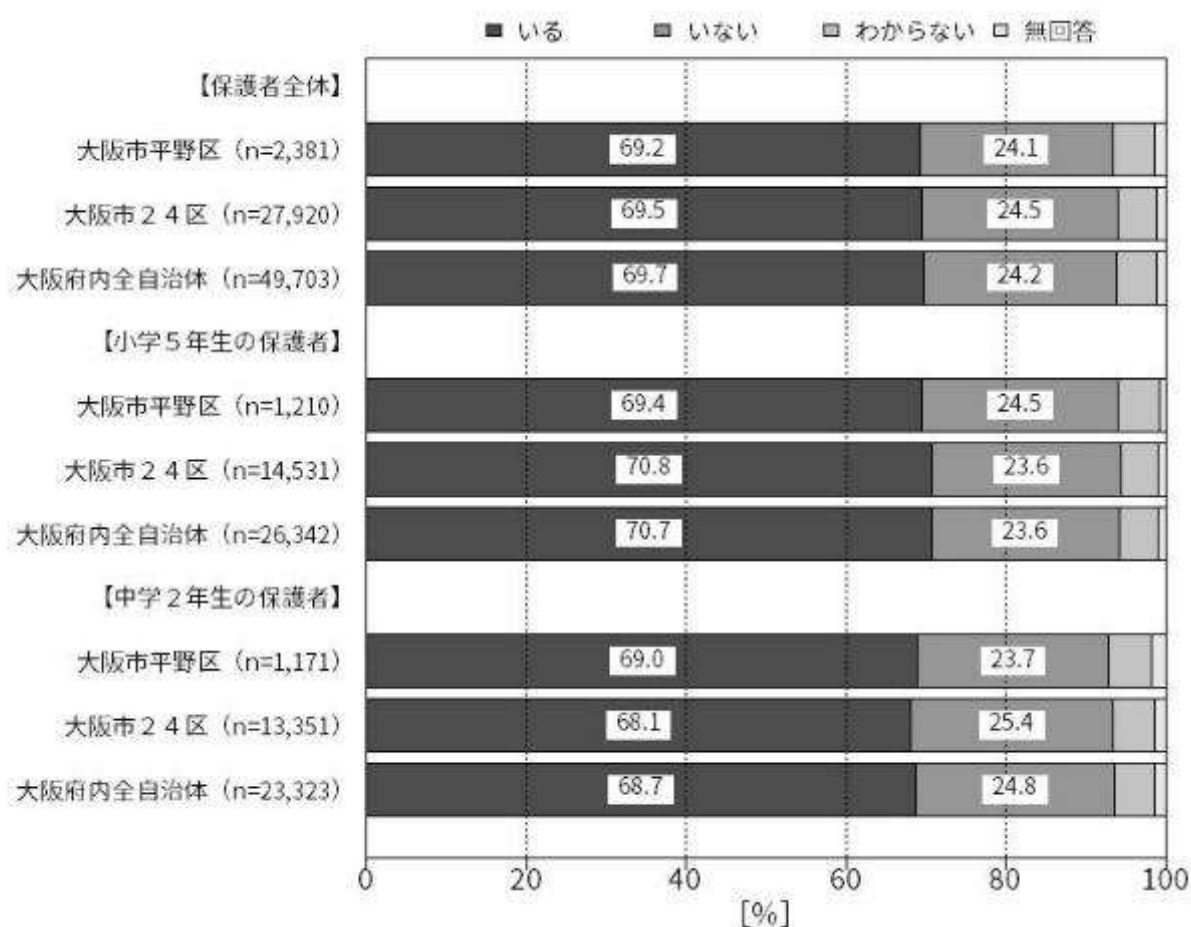


図 97. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者-23-7. 留守を頼める人

⑦ 留守を頼める人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市平野区の保護者全体では、「いる」が65.7%、「いない」が27.6%、「わからない」が5.5%、「無回答」が1.3%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が67.3%、「いない」が26.8%、「わからない」が5.2%、「無回答」が0.7%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が64.0%、「いない」が28.4%、「わからない」が5.8%、「無回答」が1.8%であった。

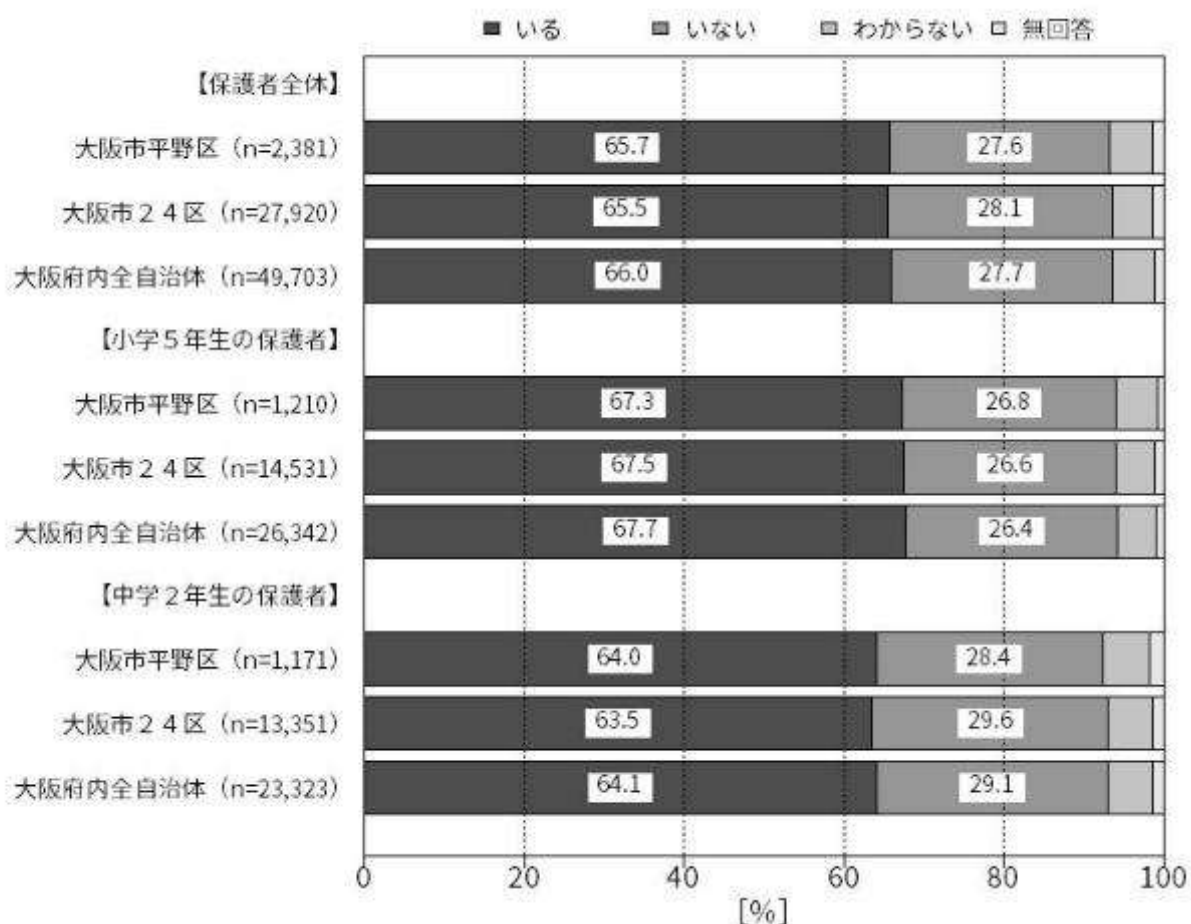


図 98. 留守を頼める人

保護者-24. 困ったときの相談先

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の保護者全体では、「配偶者・パートナー」が 62.6%、「自分の親」が 61.7%、「近隣に住む知人や友人」が 40.6%、「きょうだい・その他の親戚」が 37.6%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 18.9%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が 65.3%、「自分の親」が 62.7%、「近隣に住む知人や友人」が 43.5%、「きょうだい・その他の親戚」が 38.0%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 21.3%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「自分の親」が 60.7%、「配偶者・パートナー」が 59.9%、「近隣に住む知人や友人」が 37.7%、「きょうだい・その他の親戚」が 37.1%、「職場関係者」が 18.5%の順に高くなっている。

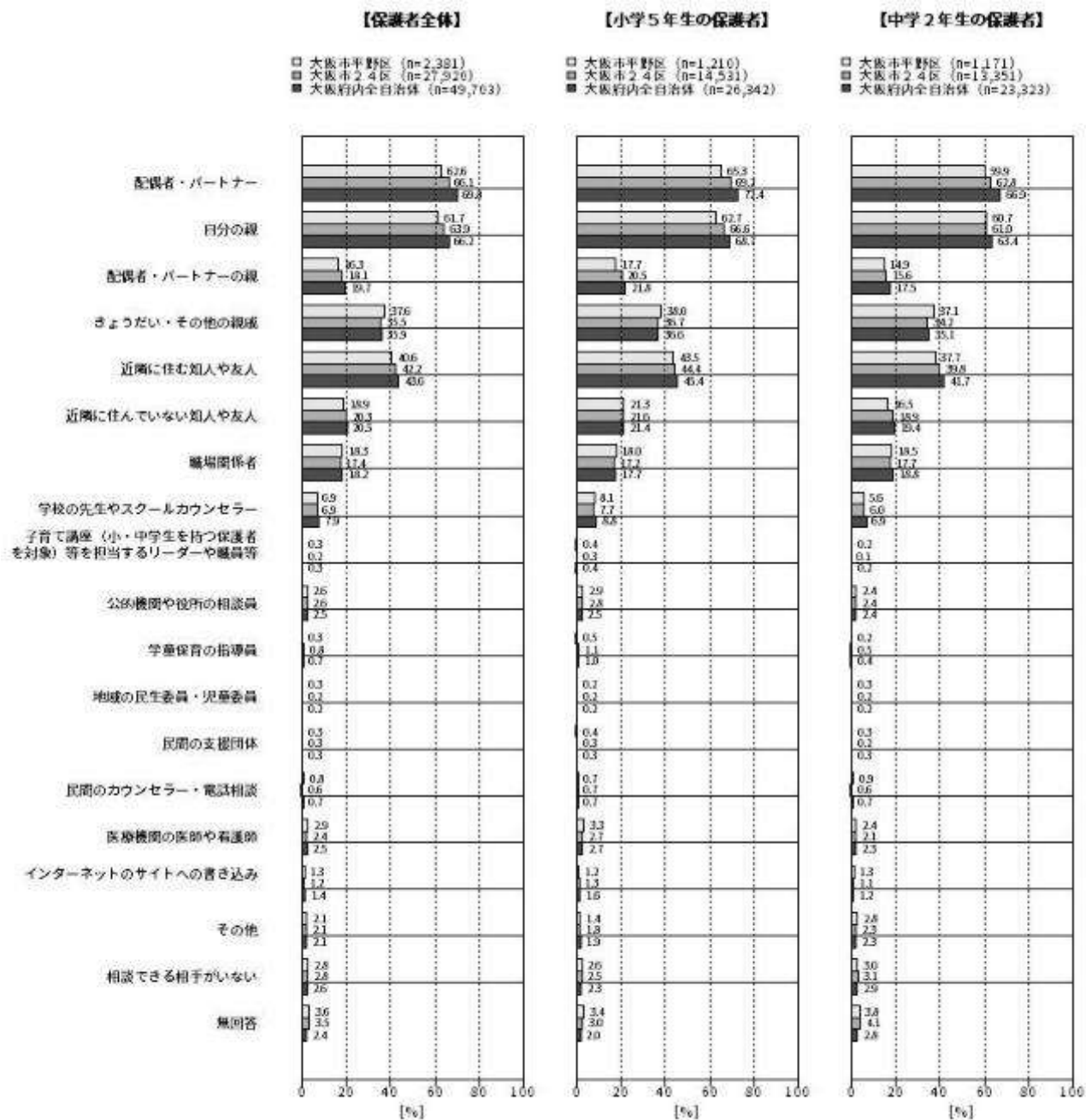


図 99. 困ったときの相談先

子ども-22. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。(だれに話しますか。)
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

大阪市平野区の全体では、「親」が 58.1%、「学校のともだち」が 43.3%、「きょうだい」が 14.7%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 12.0%、「だれにも相談したくない」が 11.3%の順に高くなっている。

小学5年生では、「親」が 67.5%、「学校のともだち」が 37.4%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 14.9%、「きょうだい」が 14.7%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が 11.3%の順に高くなっている。

中学2年生では、「学校のともだち」が 49.5%、「親」が 48.2%、「きょうだい」が 14.7%、「わからない」が 13.5%、「だれにも相談したくない」が 13.0%の順に高くなっている。

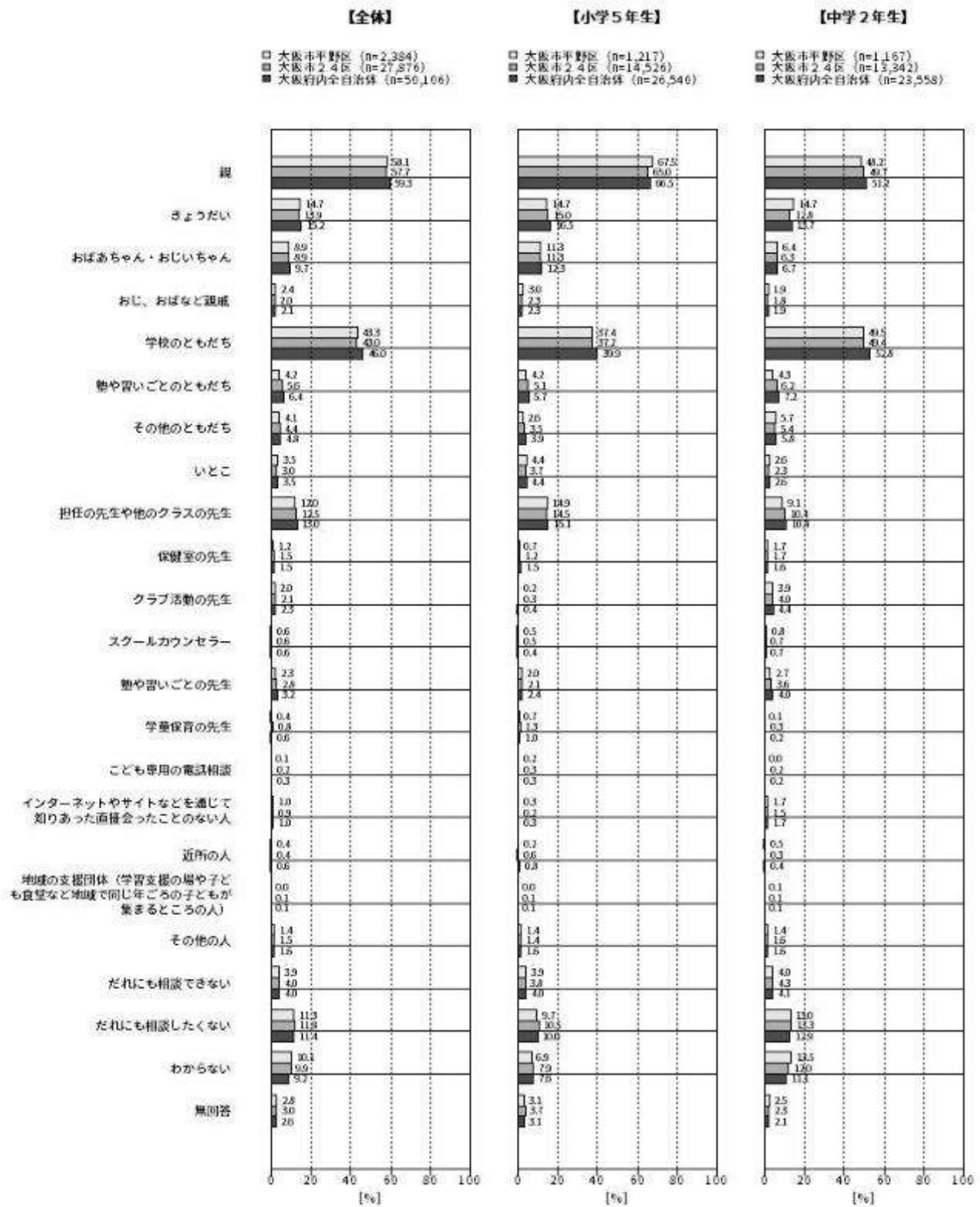


図 100. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

子ども-23-1. 失敗したときに助けてくれる人

① 失敗したときに助けてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が71.4%、「ともだち」が57.6%、「お父さん」が45.3%、「おじいさん・おばあさん」が26.5%、「きょうだい」が25.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が76.2%、「ともだち」が53.0%、「お父さん」が50.2%、「おじいさん・おばあさん」が30.1%、「きょうだい」が25.5%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が66.4%、「ともだち」が62.3%、「お父さん」が40.2%、「きょうだい」が24.7%、「おじいさん・おばあさん」が22.7%の順に高くなっている。

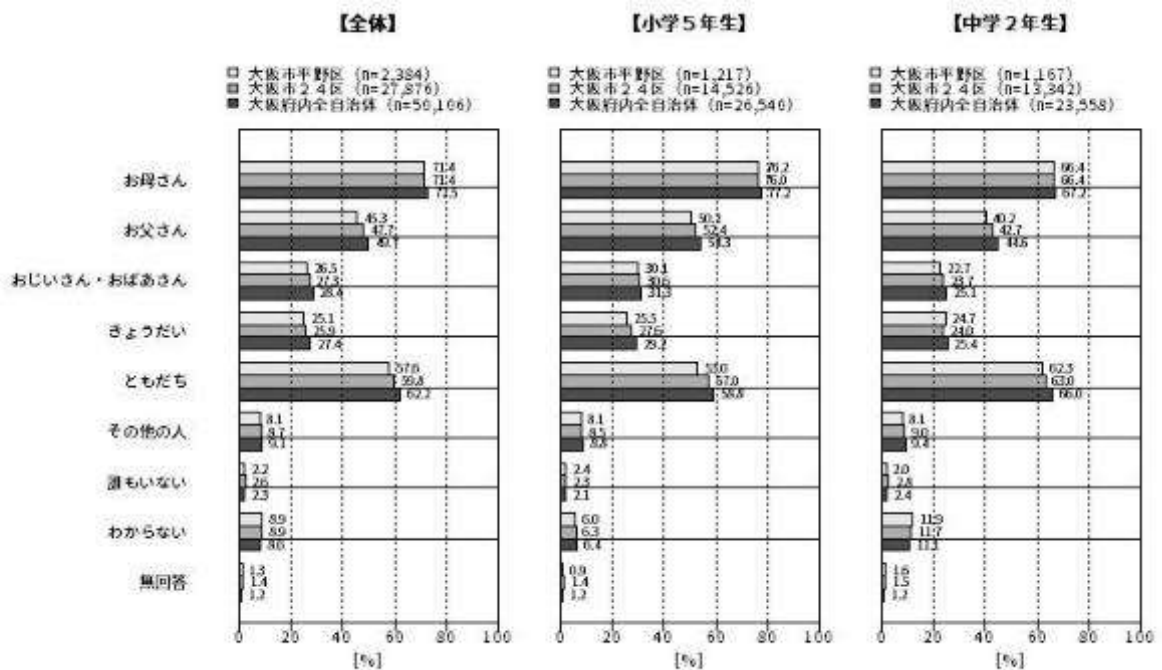


図 101. 失敗したときに助けてくれる人

子ども-23-2. 頑張ったときにほめてくれる人

② 頑張ったときにほめてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が78.2%、「お父さん」が54.9%、「おじいさん・おばあさん」が39.3%、「ともだち」が36.0%、「きょうだい」が20.8%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が83.3%、「お父さん」が60.6%、「おじいさん・おばあさん」が43.3%、「ともだち」が32.2%、「きょうだい」が21.9%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が71.8%、「お父さん」が49.0%、「ともだち」が39.9%、「おじいさん・おばあさん」が35.0%、「きょうだい」が19.7%の順に高くなっている。

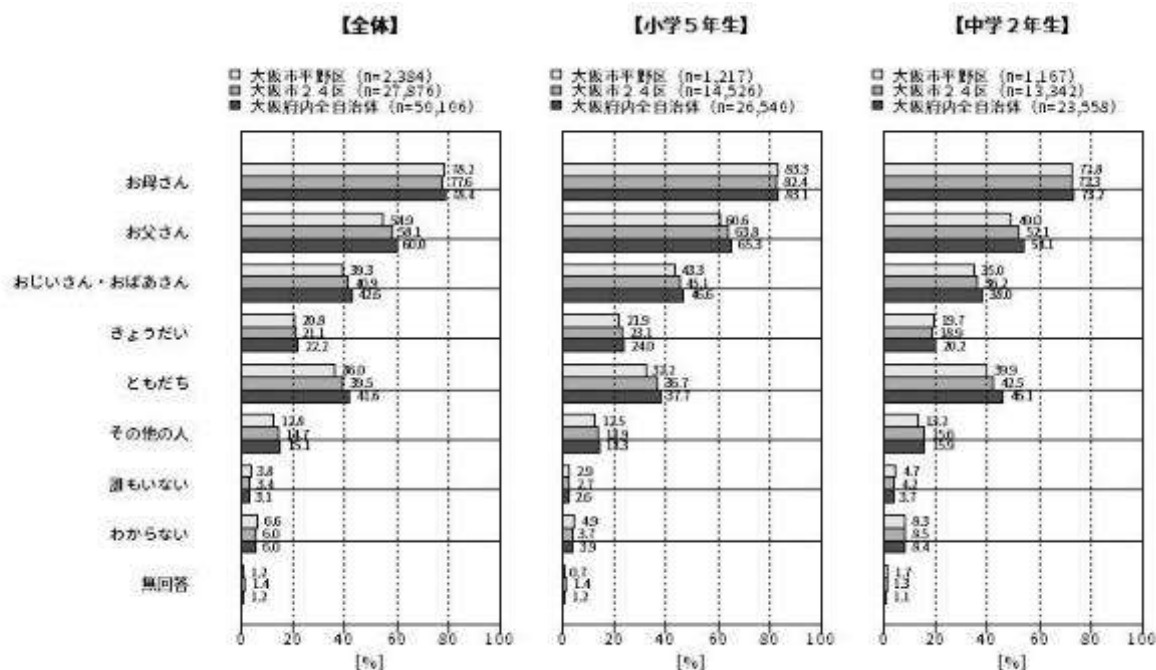


図 102. 頑張ったときにほめてくれる人

子ども-23-3. 一人でできないときに手伝ってくれる人

③ 一人でできないときに手伝ってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が59.1%、「ともだち」が56.8%、「お父さん」が36.5%、「きょうだい」が24.1%、「おじいさん・おばあさん」が24.0%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が67.3%、「ともだち」が51.4%、「お父さん」が42.7%、「おじいさん・おばあさん」が27.9%、「きょうだい」が26.1%の順に高くなっている。

中学2年生では、「ともだち」が62.6%、「お母さん」が50.6%、「お父さん」が31.6%、「きょうだい」が21.9%、「おじいさん・おばあさん」が19.9%の順に高くなっている。

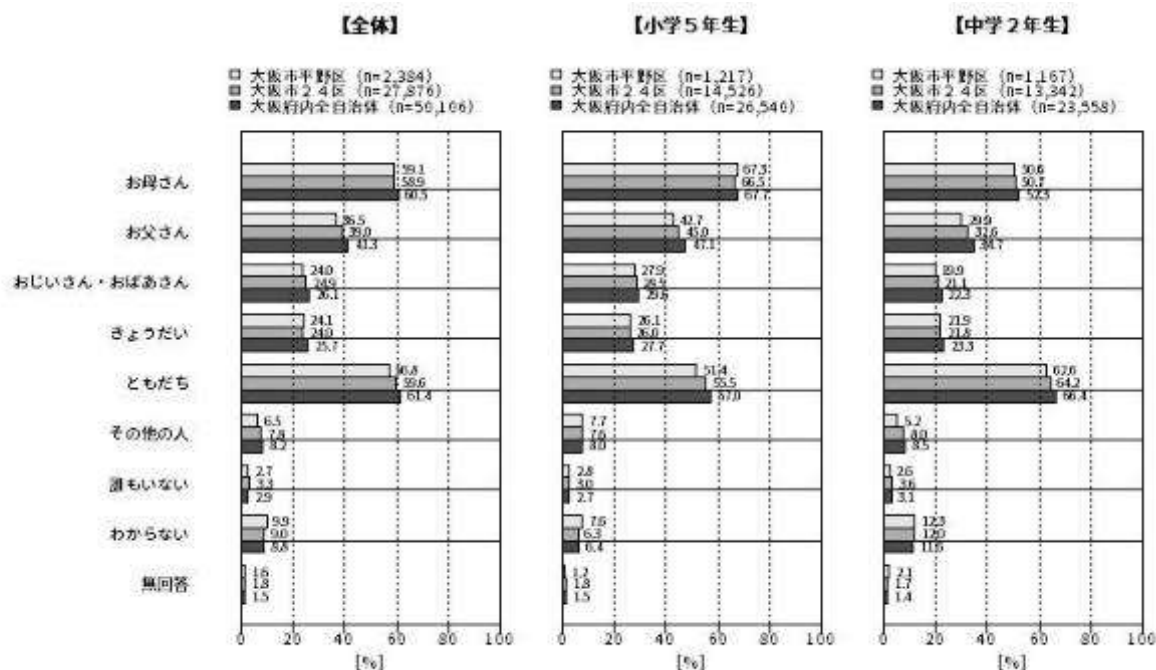


図 103. 一人でできないときに手伝ってくれる人

子ども-23-4. あなたの気持ちをわかってくれる人

④ あなたの気持ちをわかってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が68.6%、「お父さん」が40.8%、「ともだち」が40.5%、「おじいさん・おばあさん」が26.9%、「きょうだい」が24.9%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が76.7%、「お父さん」が48.7%、「ともだち」が36.2%、「おじいさん・おばあさん」が32.2%、「きょうだい」が25.8%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が60.1%、「ともだち」が45.1%、「お父さん」が32.5%、「きょうだい」が24.0%、「おじいさん・おばあさん」が21.4%の順に高くなっている。

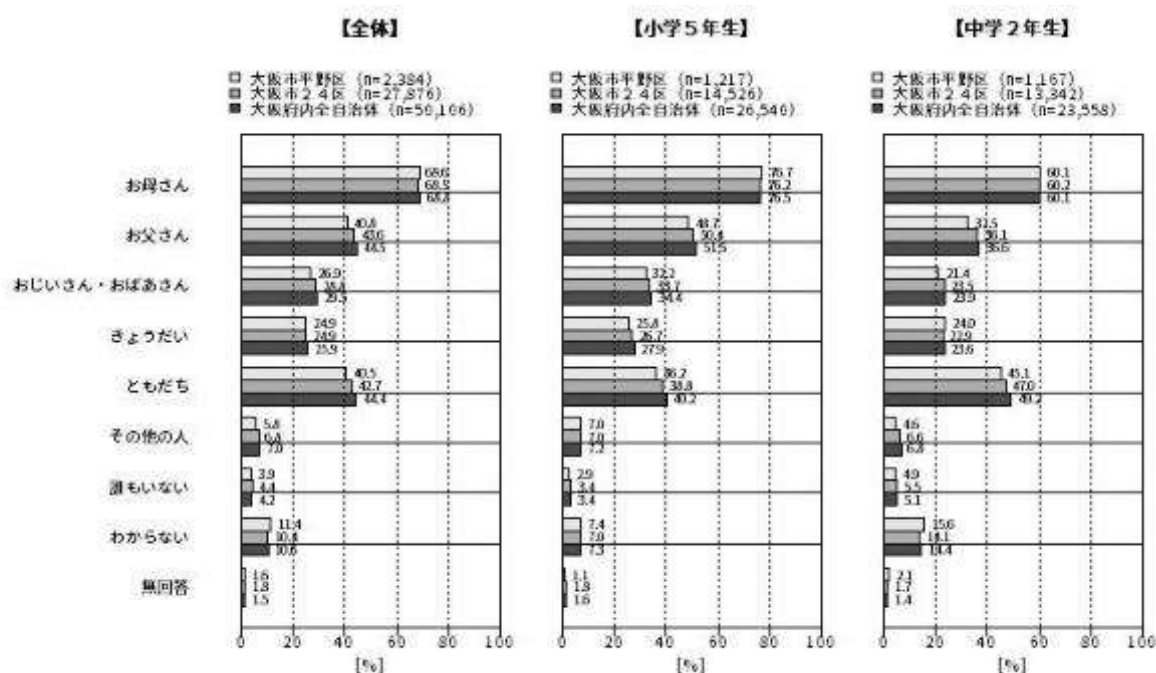


図 104. あなたの気持ちをわかってくれる人

子ども-23-5. あなたのことを信じてくれる人

⑤ あなたのことを信じてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が68.5%、「お父さん」が47.7%、「ともだち」が39.4%、「おじいさん・おばあさん」が35.7%、「きょうだい」が26.6%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が73.5%、「お父さん」が52.8%、「おじいさん・おばあさん」が39.7%、「ともだち」が38.0%、「きょうだい」が27.8%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が63.2%、「お父さん」が42.4%、「ともだち」が40.8%、「おじいさん・おばあさん」が31.6%、「きょうだい」が25.4%の順に高くなっている。

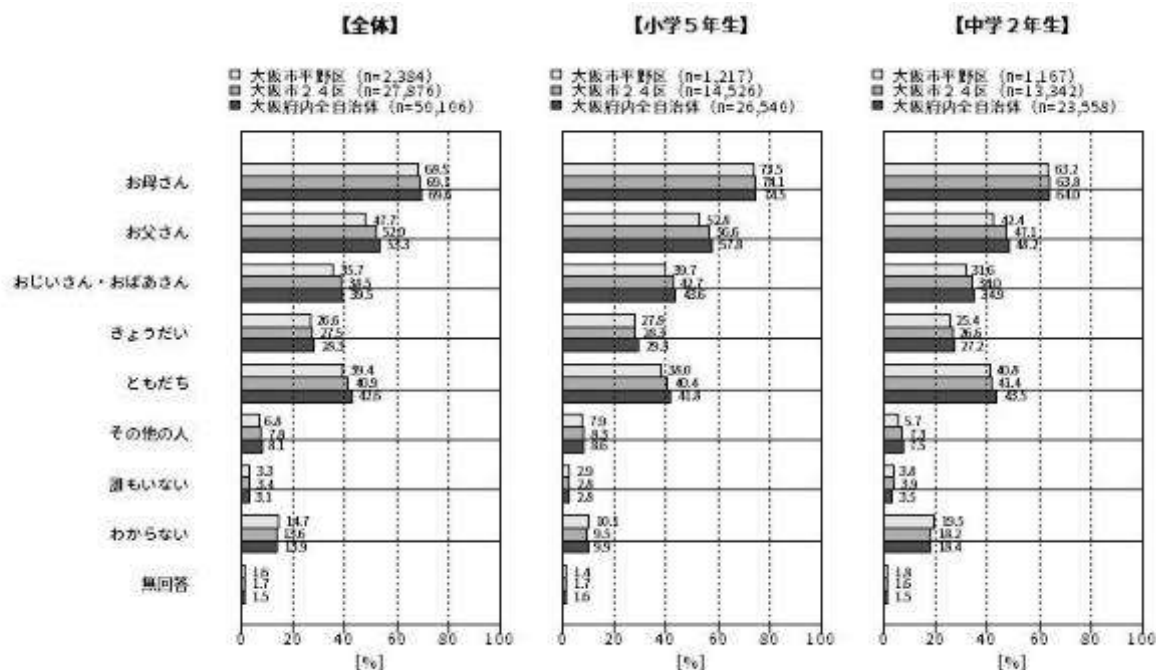


図 105. あなたのことを信じてくれる人

子ども-23-6. 悩んだときの対処を教えてください

⑥ 悩んだときの対処を教えてください (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が68.8%、「ともだち」が42.7%、「お父さん」が40.8%、「おじいさん・おばあさん」が25.5%、「きょうだい」が20.2%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が76.7%、「お父さん」が48.4%、「ともだち」が38.0%、「おじいさん・おばあさん」が31.6%、「きょうだい」が22.0%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が60.4%、「ともだち」が47.5%、「お父さん」が32.8%、「おじいさん・おばあさん」が29.1%、「きょうだい」が18.3%の順に高くなっている。

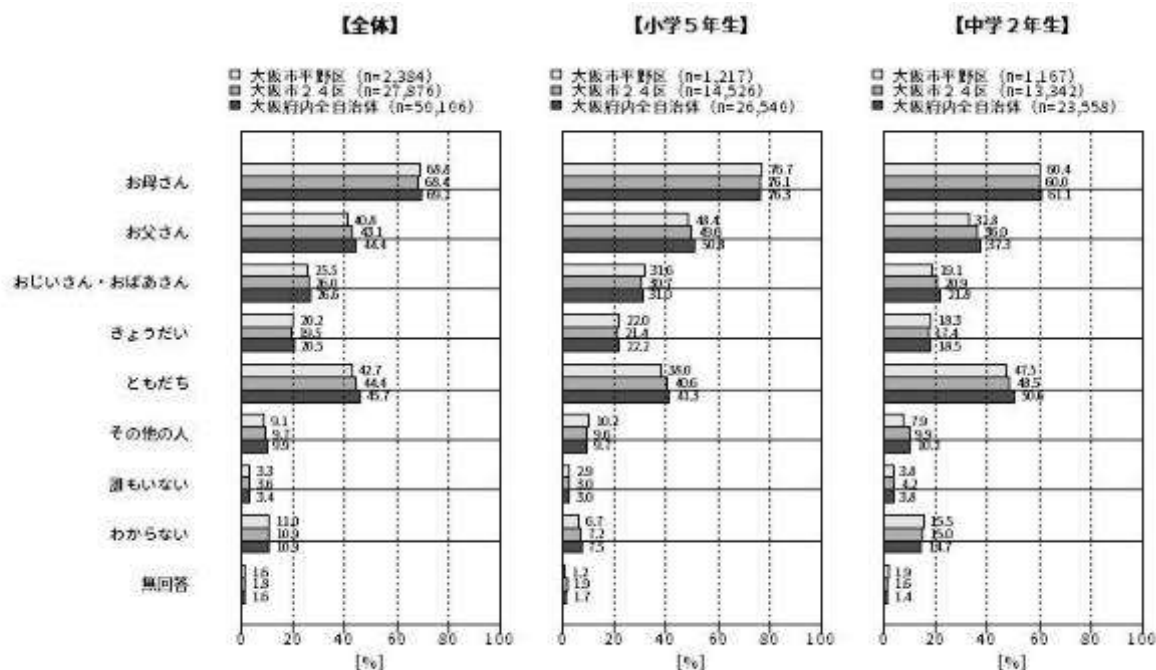


図 106. 悩んだときの対処を教えてください

子ども-23-7. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

⑦ 良いところ、良くないところをわかってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が79.5%、「お父さん」が53.1%、「ともだち」が40.8%、「おじいさん・おばあさん」が34.1%、「きょうだい」が29.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が85.4%、「お父さん」が58.9%、「おじいさん・おばあさん」が38.2%、「ともだち」が34.6%、「きょうだい」が29.6%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が73.4%、「ともだち」が47.3%、「お父さん」が47.0%、「おじいさん・おばあさん」が29.7%、「きょうだい」が29.5%の順に高くなっている。

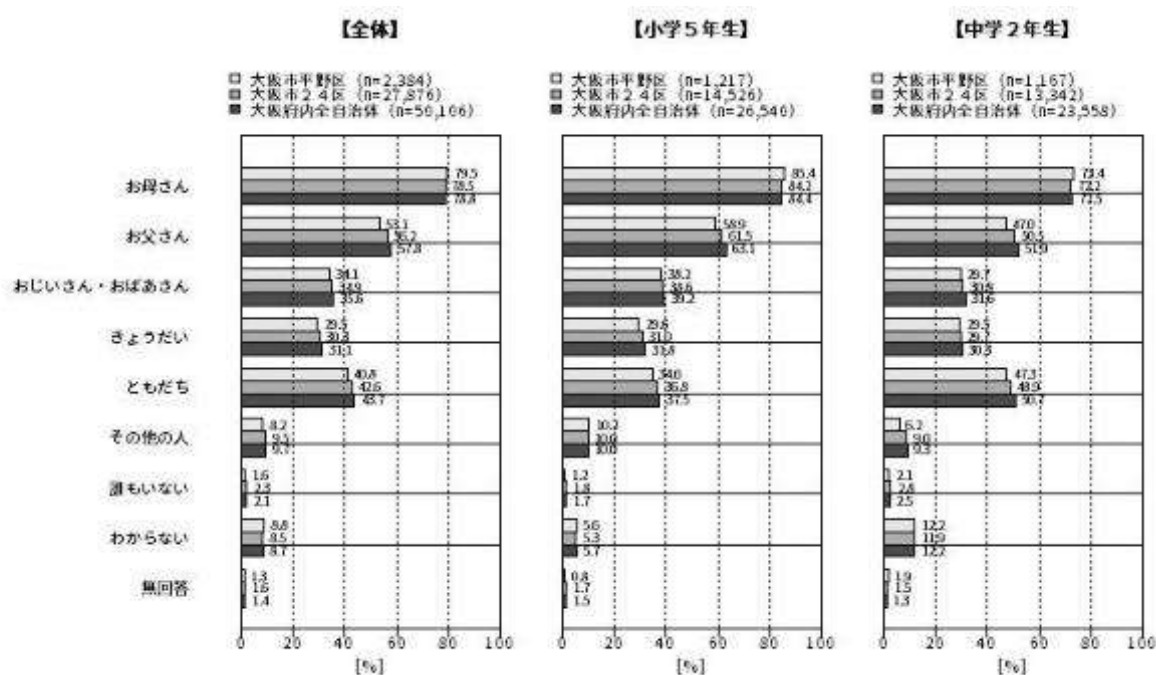


図 107. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

子ども-23-8. あなたのことを大切にしてくれる人

⑧ あなたのことを大切にしてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市平野区の全体では、「お母さん」が83.4%、「お父さん」が65.3%、「おじいさん・おばあさん」が57.0%、「ともだち」が46.0%、「きょうだい」が41.7%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が89.0%、「お父さん」が71.6%、「おじいさん・おばあさん」が62.6%、「きょうだい」が44.5%、「ともだち」が43.1%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が77.6%、「お父さん」が58.7%、「おじいさん・おばあさん」が51.2%、「ともだち」が49.1%、「きょうだい」が38.8%の順に高くなっている。

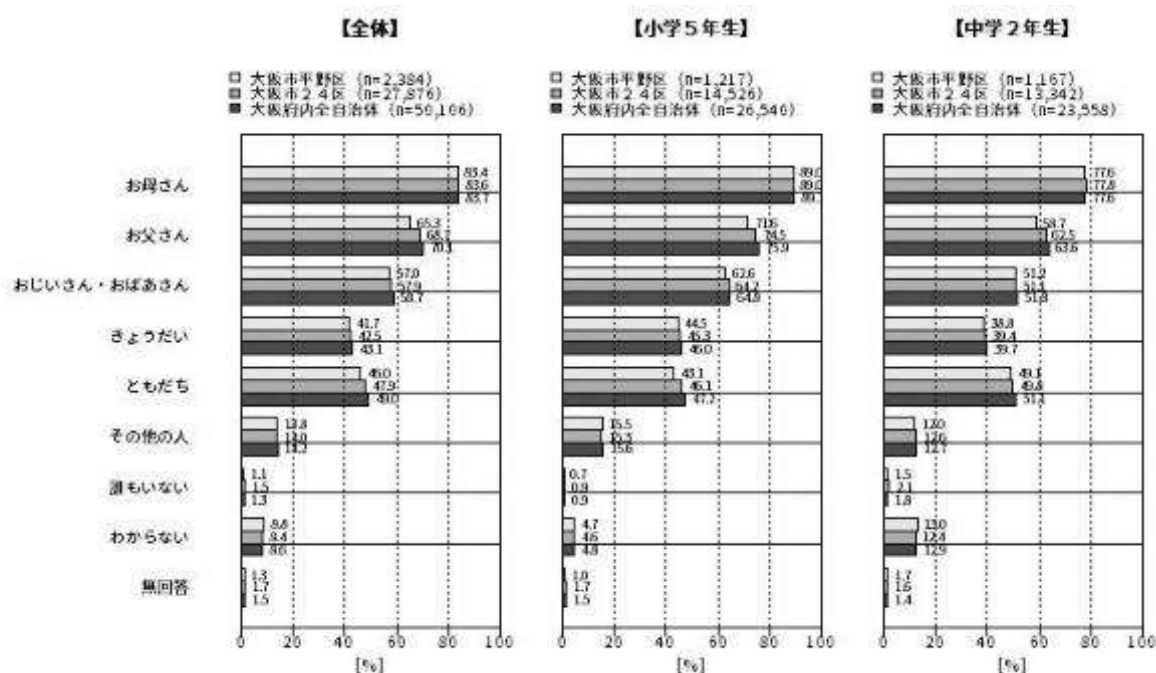


図 108. あなたのことを大切にしてくれる人

3. クロス集計および分析結果

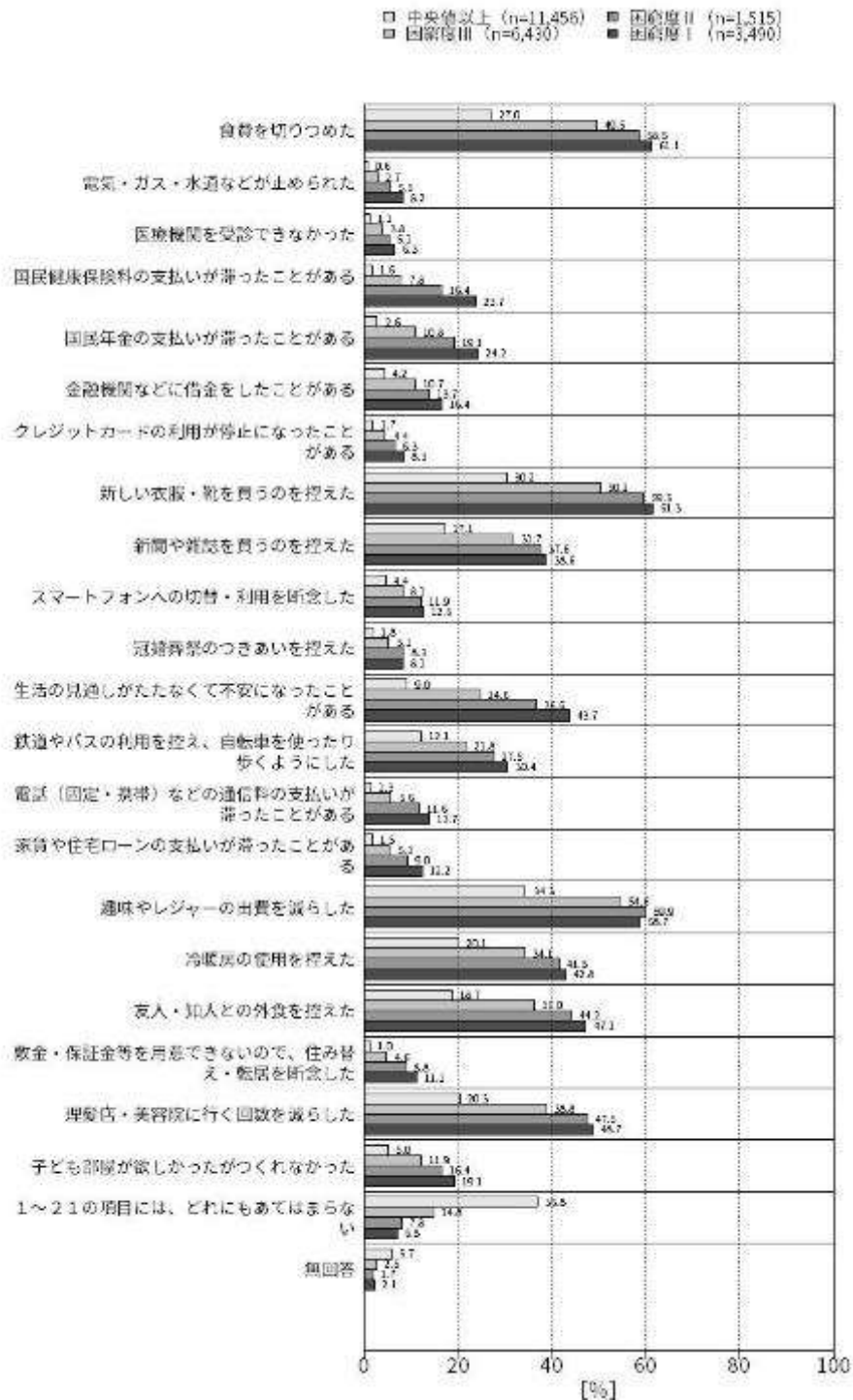
以下のグラフは、主に困窮度別（大阪市24区での分類に基づく）に示している。大阪市24区全体の傾向については記述していないが、多くにおいて同様の傾向が見られる。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票 問7）

<大阪市24区>



<大阪市平野区>

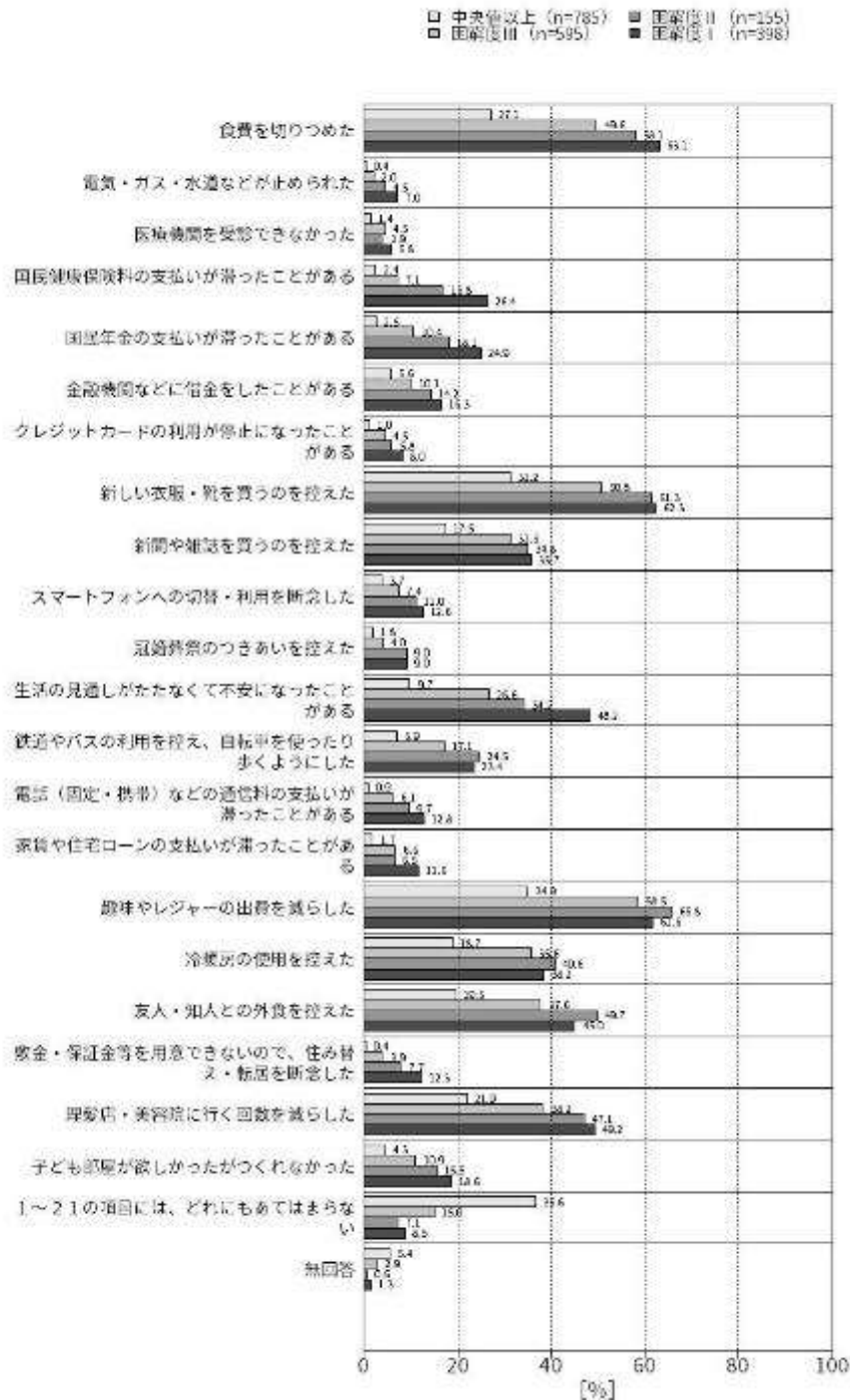


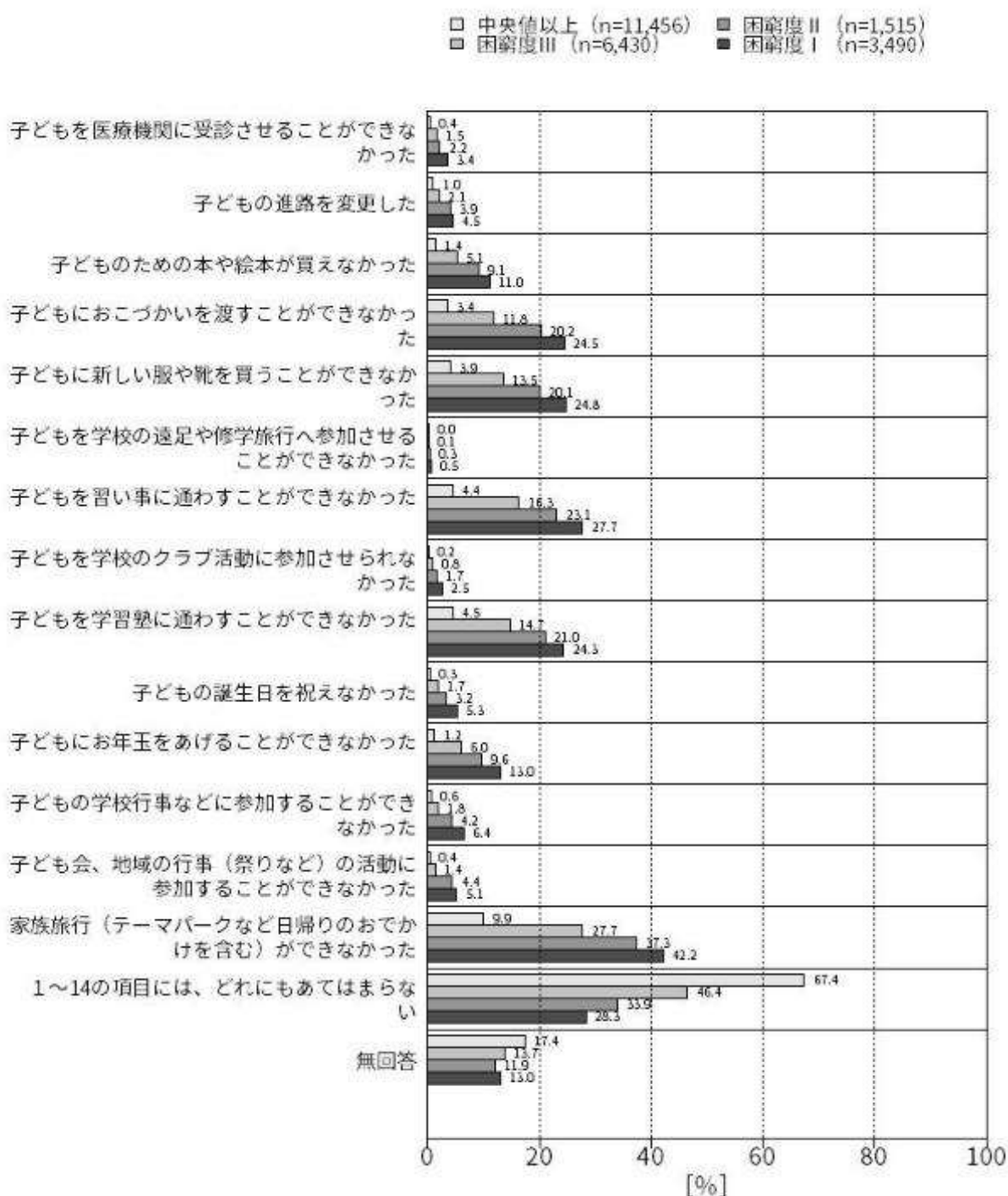
図 109. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※困窮度については図 5 参照。

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 I 群の数値を挙げると、「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」は 12.3%（中央値以上群に対して、30.8 倍）、「電気・ガス・水道などが止められた」は 7%（17.5 倍）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」は 12.8%（14.2 倍）となり、困窮度 I 群において高い項目が複数みられた。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で 36.6%なのに対して、困窮度 I 群において 8.5%であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（保護者票 問13）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

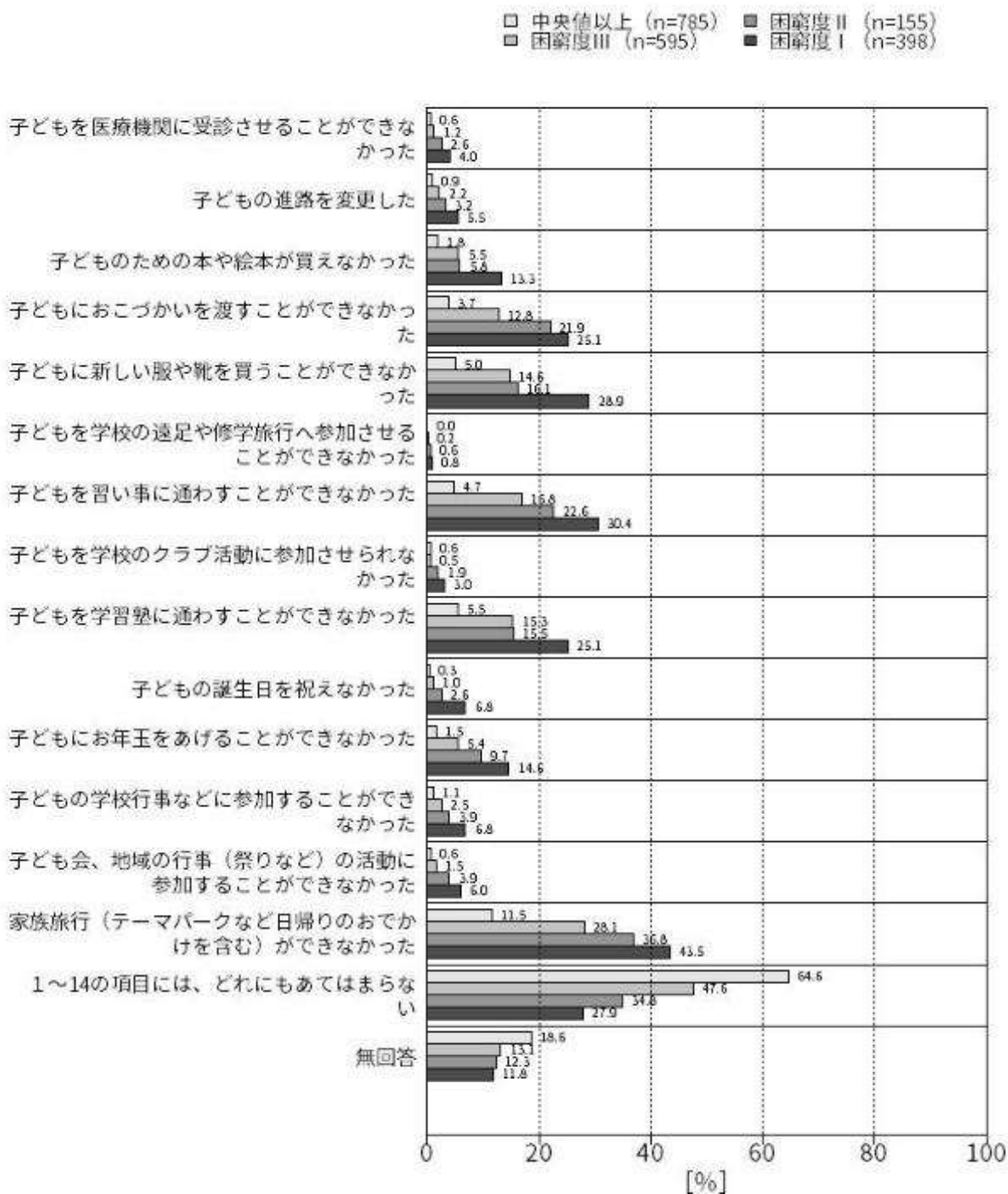
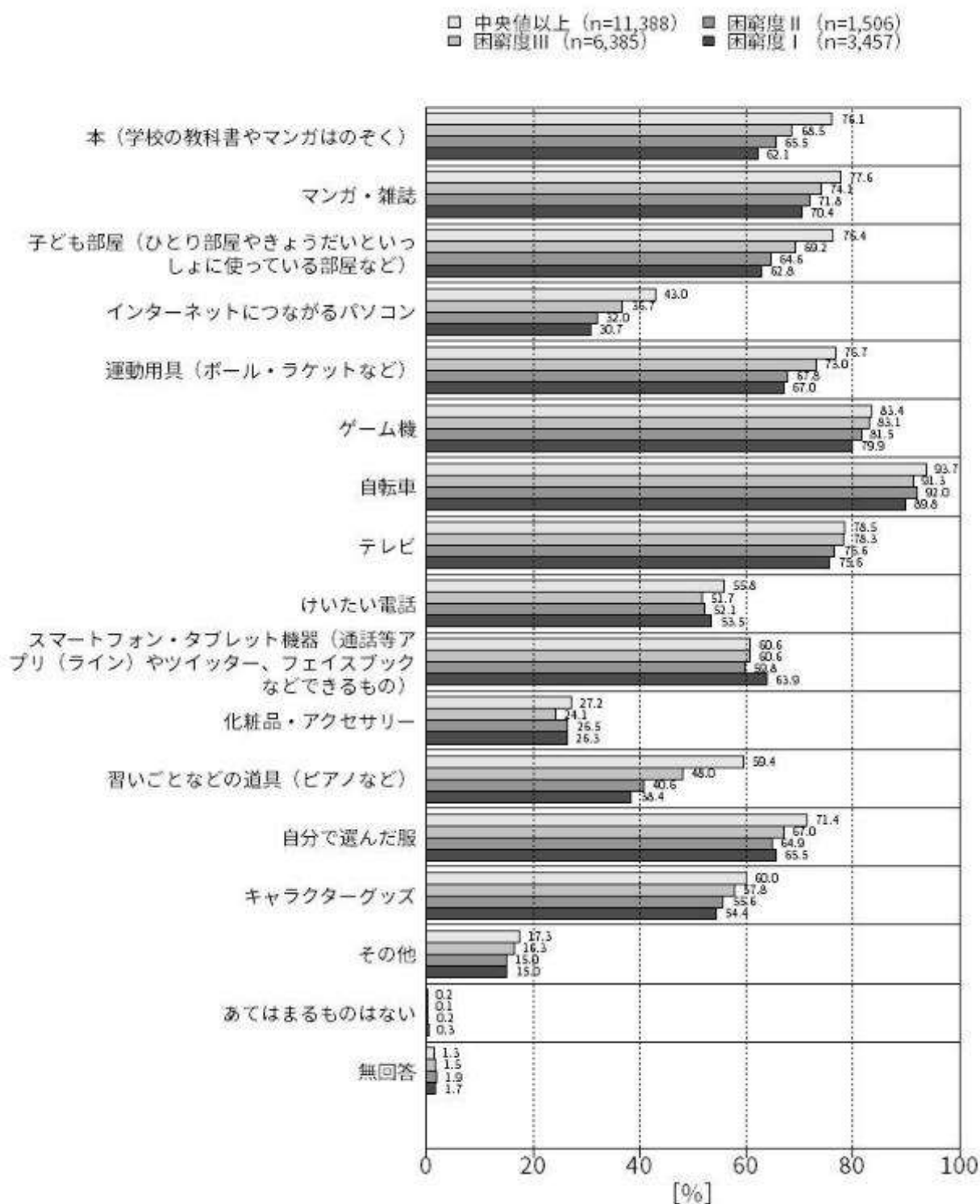


図 110. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 I 群の数値を挙げると、「子どもの誕生日を祝えなかった」は 6.8%（中央値以上群に対して、22.7 倍）、「子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった」は 6%（10 倍）、「子どもにお年玉をあげることができなかった」は 14.6%（9.7 倍）となり、困窮度 I 群において高い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票 問 25）

<大阪市 24 区>



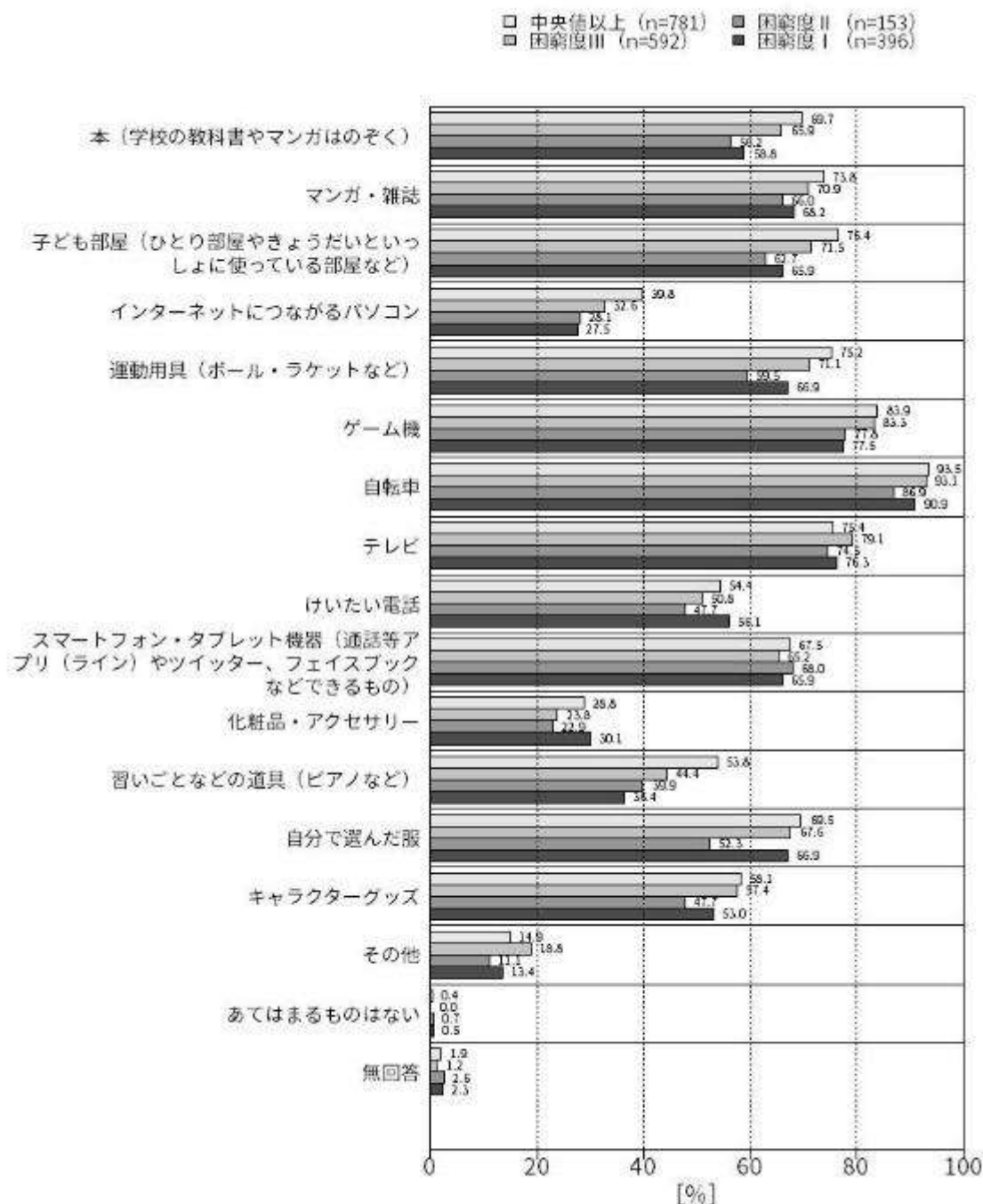
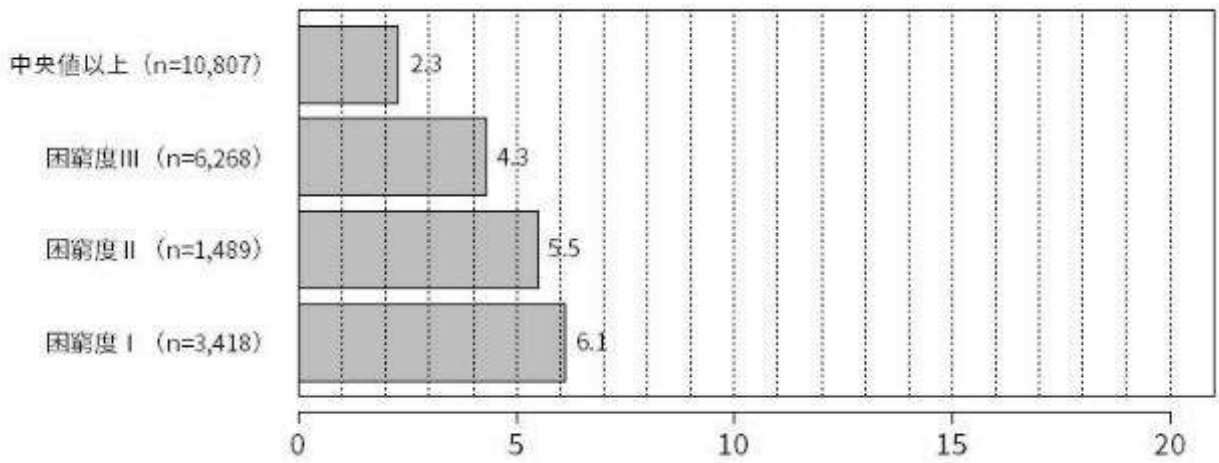


図 111. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に子どもの持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「習いごとなどの道具 (ピアノなど)」53.8% (困窮度Ⅰ群に対して1.5倍)、「インターネットにつながるパソコン」39.8% (同じく1.4倍)、「本 (学校の教科書やマンガはのぞく)」69.7% (同じく1.2倍)、「子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など)」76.4% (同じく1.2倍) となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。困窮度が高いことでこれらを持っていない、使うことができないことは、子どもの生活や将来に影響を及ぼす可能性がある。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問7）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

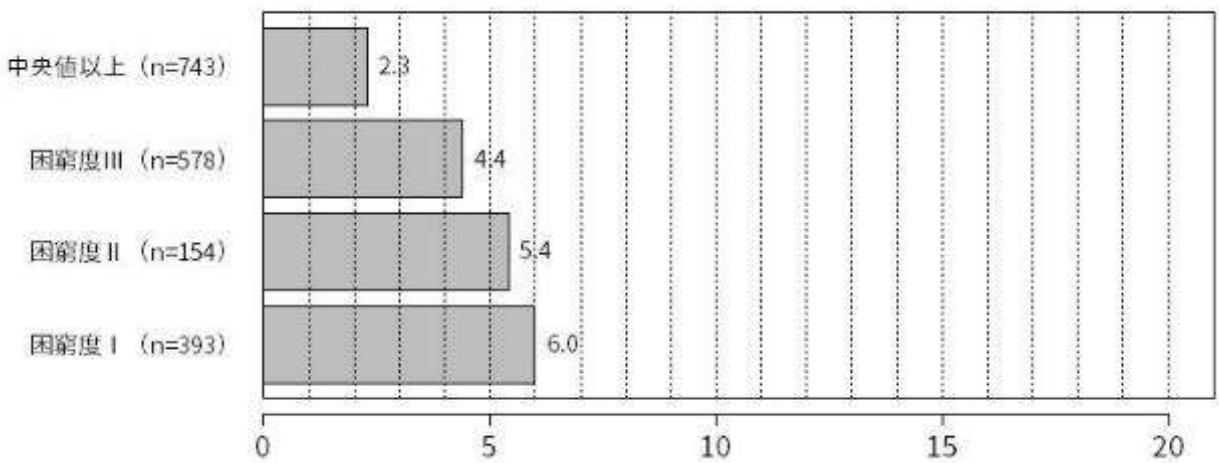


図 112. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

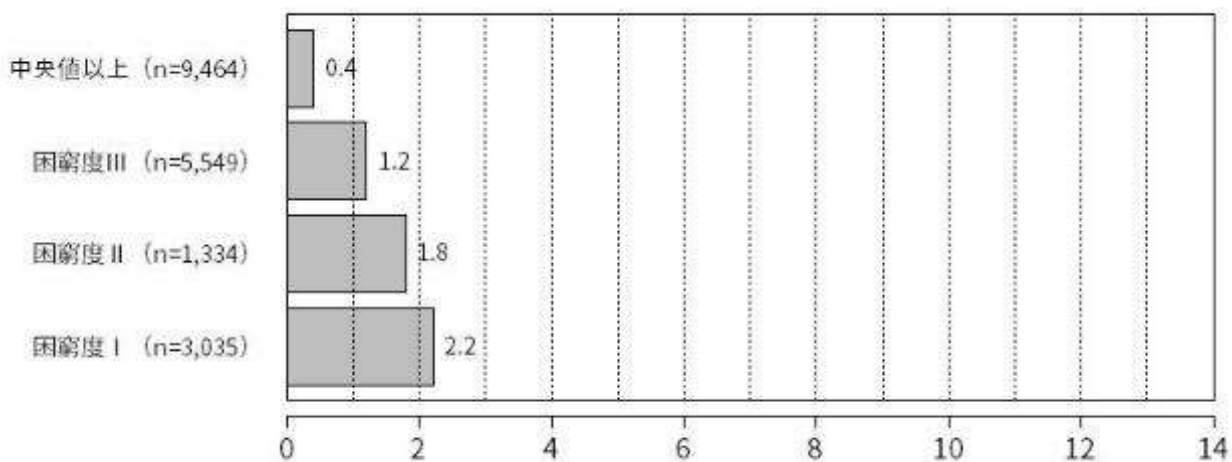
経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度と経済的な理由による経験の該当数についてさらに詳細に検討した結果、該当なし（どれにもあてはまらない）、1～6 個に該当、7 個以上に該当、の 3 群に分けることができた。図 193 および図 195 では、これらの結果と体や気持ちで気になることとの関連を示している。これは、最低限度の生活に必要なものの 1 つである健康を、所得を基に計算される困窮度だけでなく、具体的な充足の程度と関連して把握するためである。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問 13）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

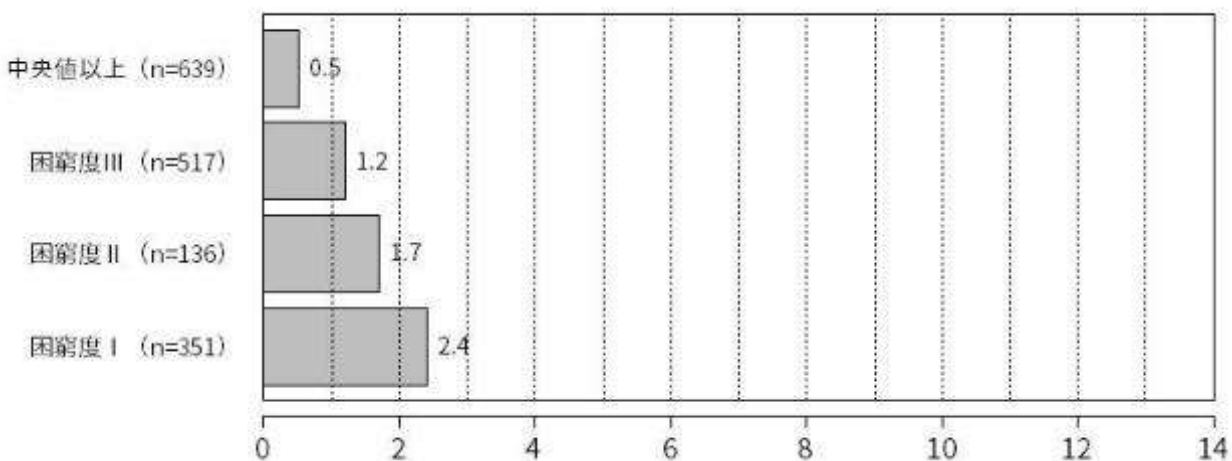


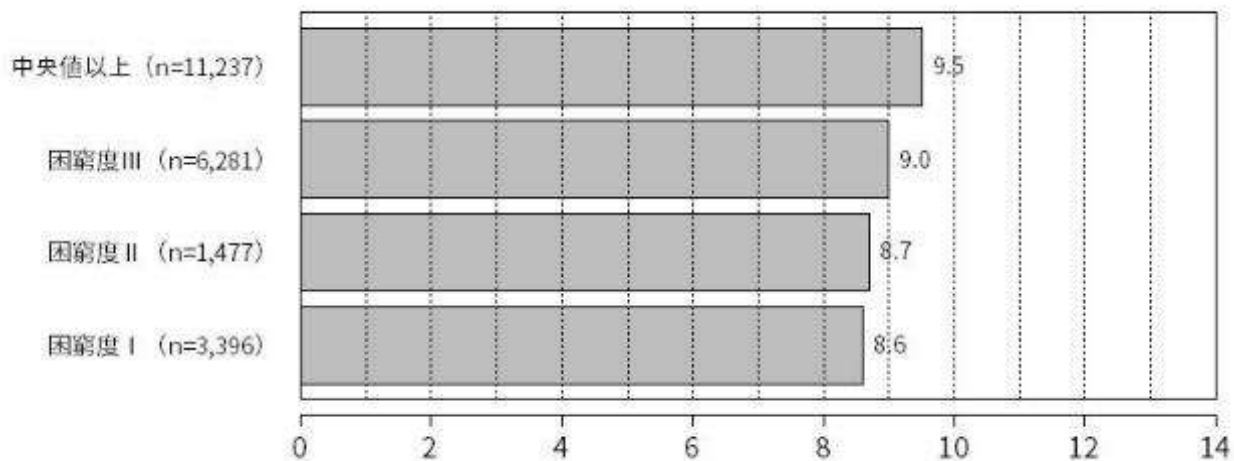
図 113. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 0.5 個、困窮度Ⅰ群では 2.4 個と経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数に違いがある様子がみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均
 (子ども票 問 25)

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

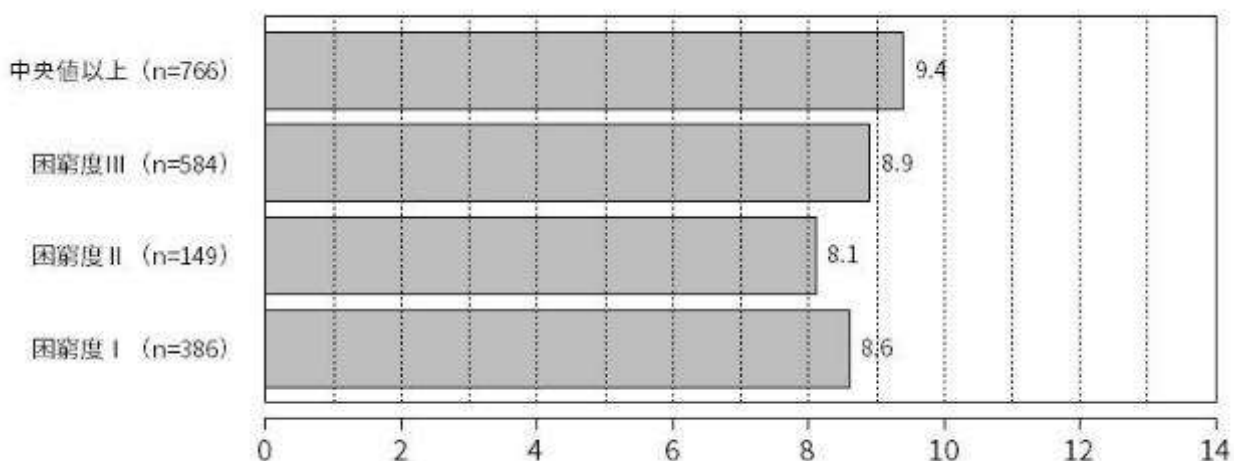


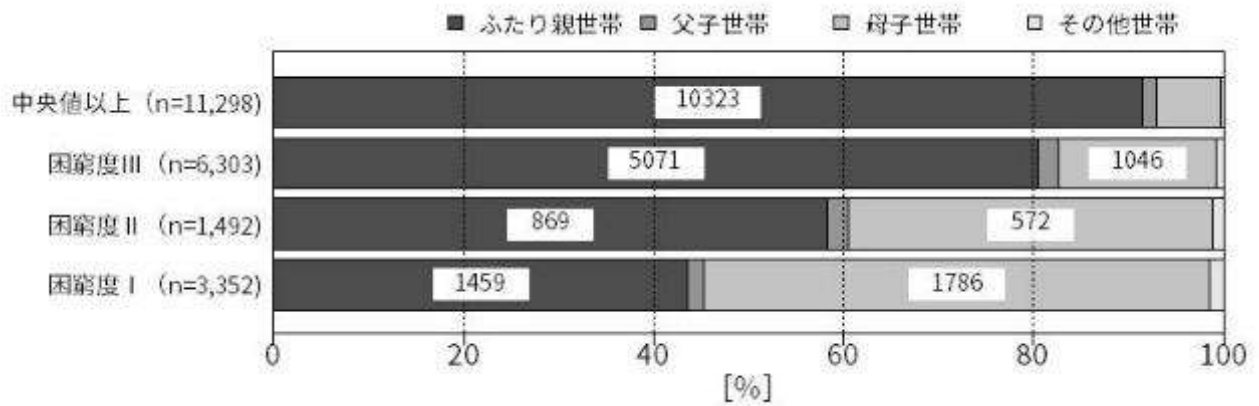
図 114. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 9.4 個、困窮度 I 群では 8.6 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票 世帯構成）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

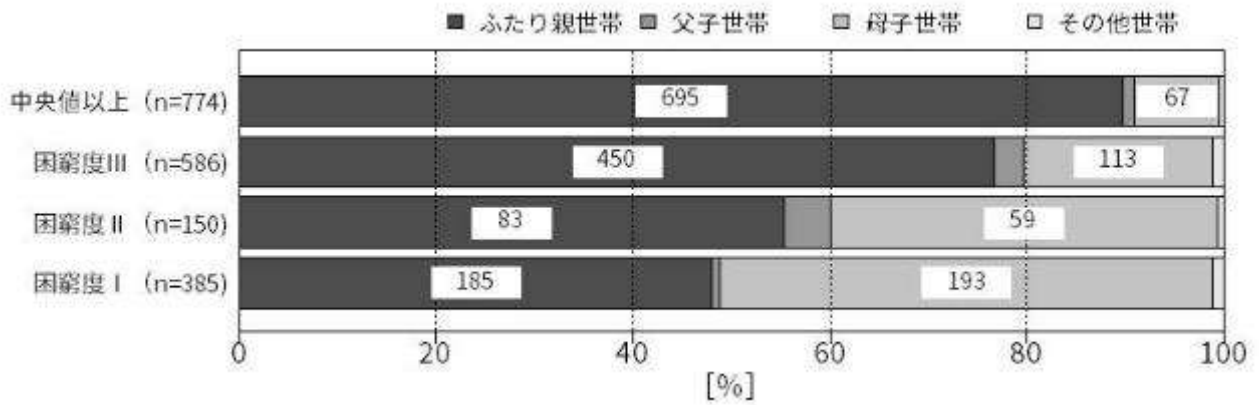
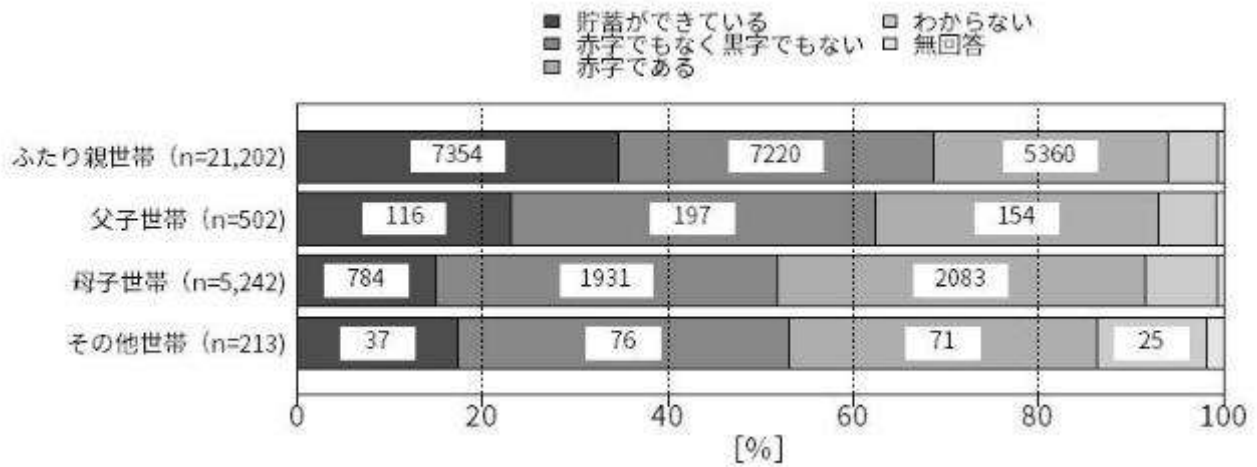


図 115. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 89.8%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 48.1%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 8.7%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 50.1%だった。

世帯構成別に見た、家計状況（保護者票 問6(1)）

<大阪市24区>



<大阪市平野区>

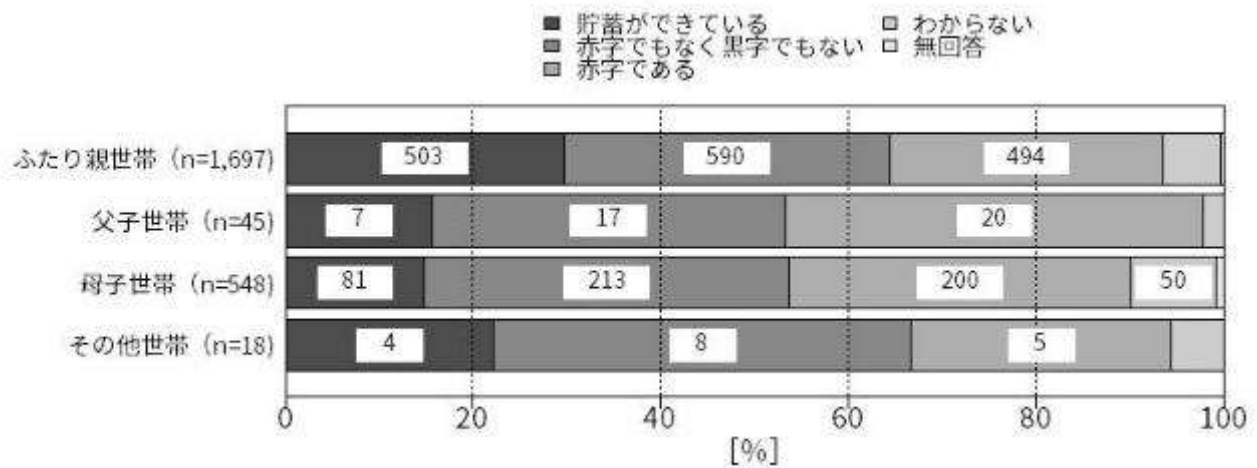
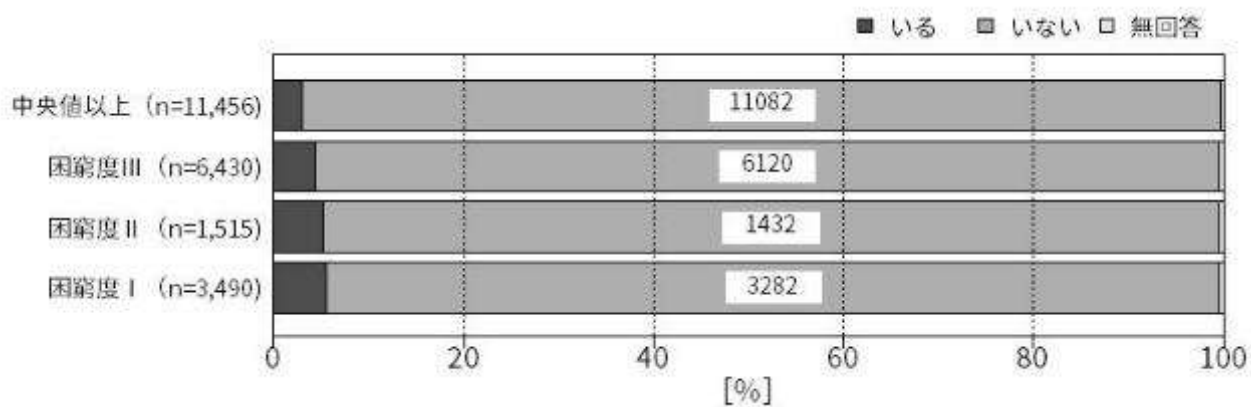


図 116. 世帯構成別に見た、家計状況

世帯構成別に家計状況を見ると、「貯蓄ができています」と回答したのは、ふたり親世帯が29.6%なのに対して、母子世帯は14.8%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が29.1%なのに対して、母子世帯は36.5%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（保護者票 問3(1)②）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

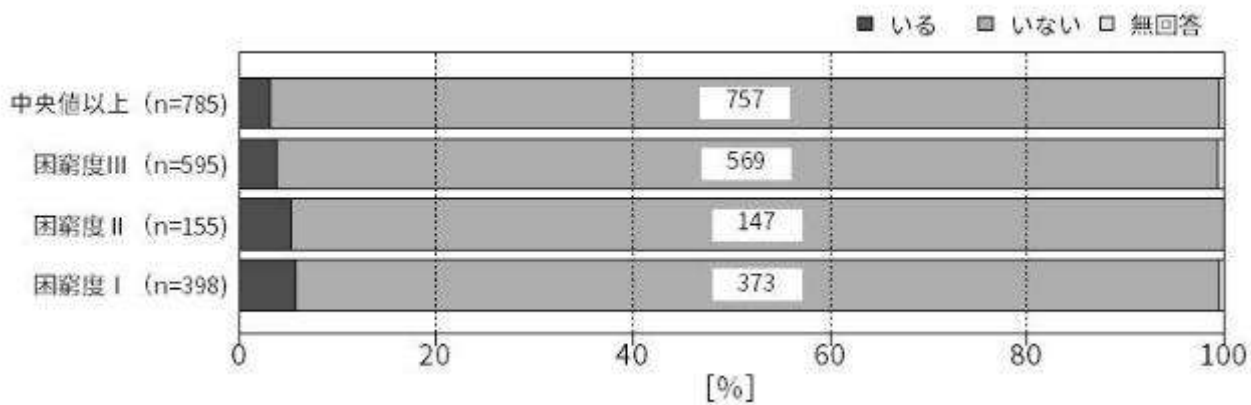
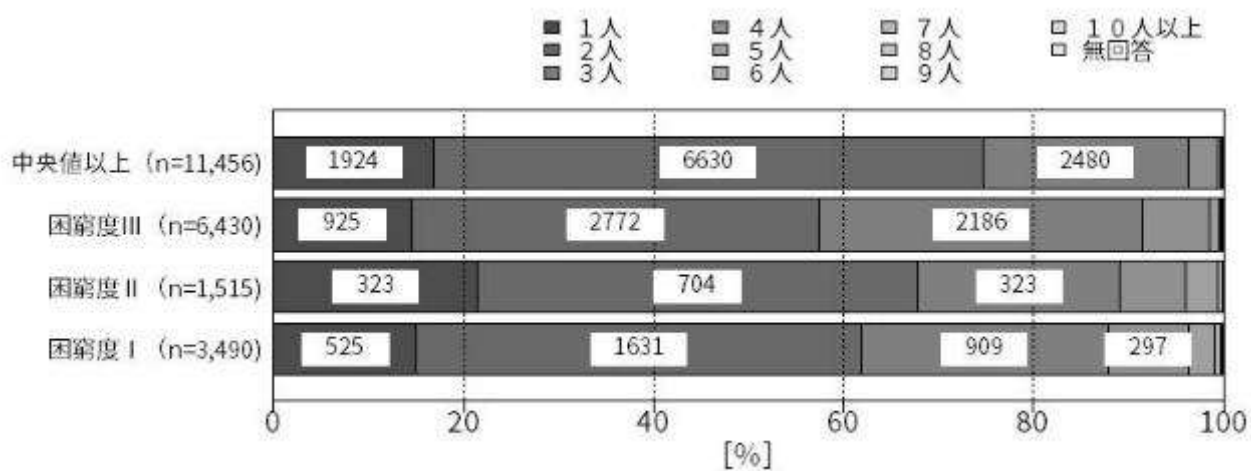


図 117. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、中央値以上群では「いる」と回答した割合が 3.2%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 5.8%であった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票 問3(1)③）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

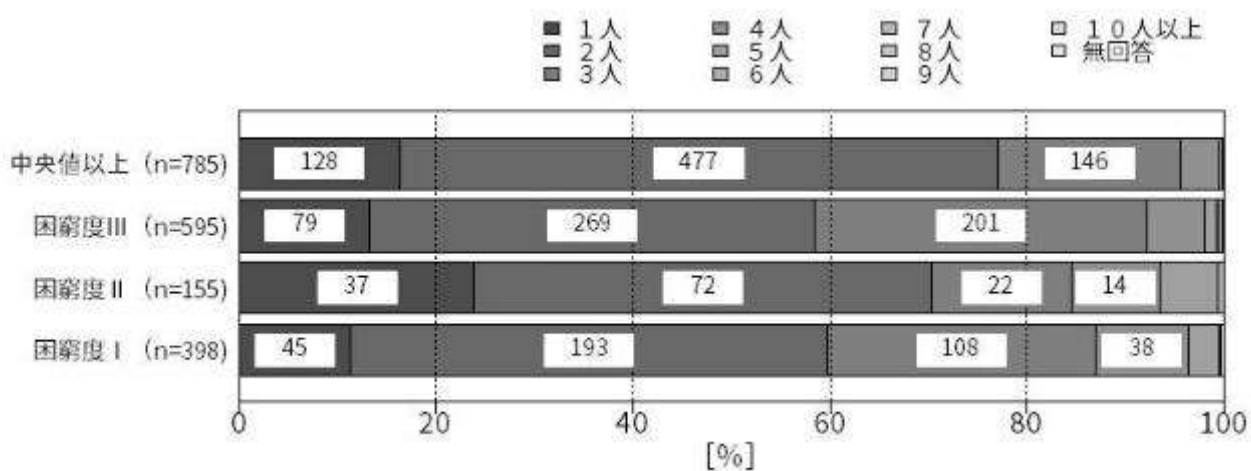
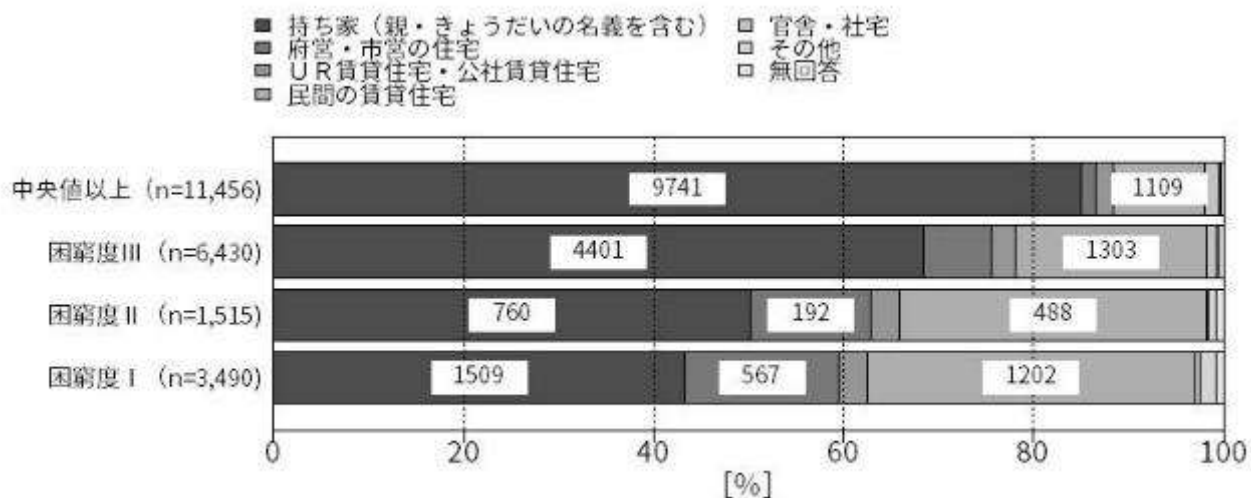


図 118. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が22.8%であったのに対して、困窮度I群では、39.9%であった。

困窮度別に見た、住居（保護者票 問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

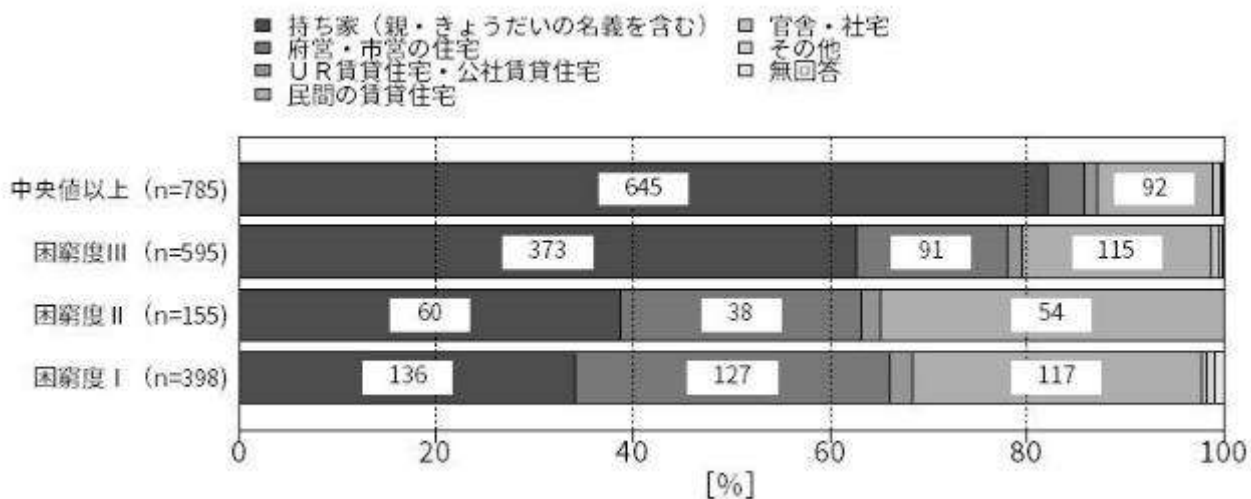
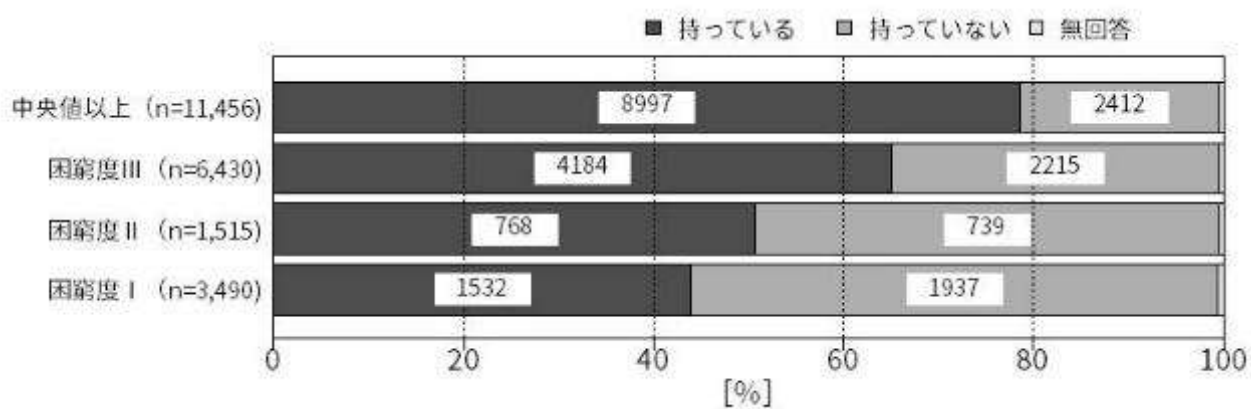


図 119. 困窮度別に見た、住居

困窮度別に住居を見ると、中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は 82.2%であったのに対して、困窮度 I 群では、34.2%であった。

困窮度別に見た、自家用車の所有（保護者票 問5）

<大阪市 24 区>



<大阪市平野区>

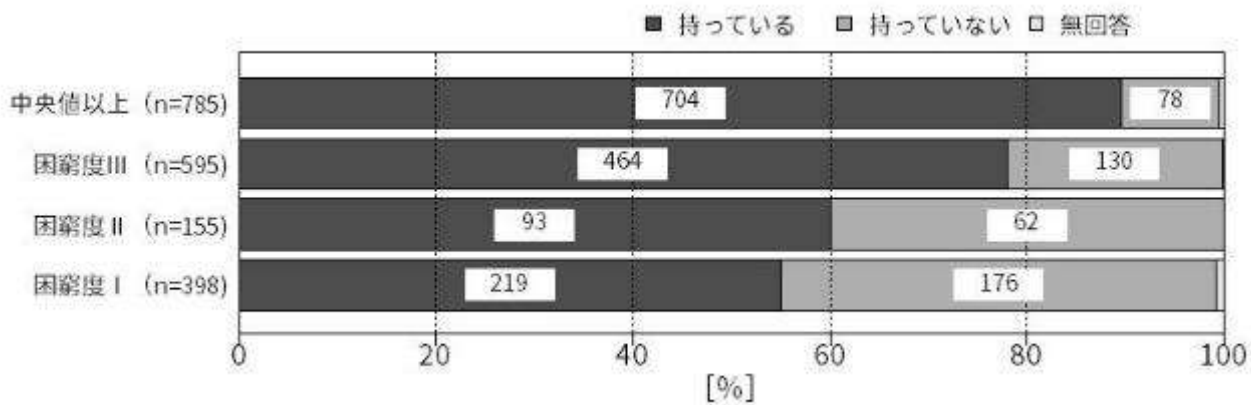


図 120. 困窮度別に見た、自家用車の所有

困窮度別に自家用車の所有を見ると、中央値以上群では、車を所有している世帯が 89.7%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 55.0%であった。